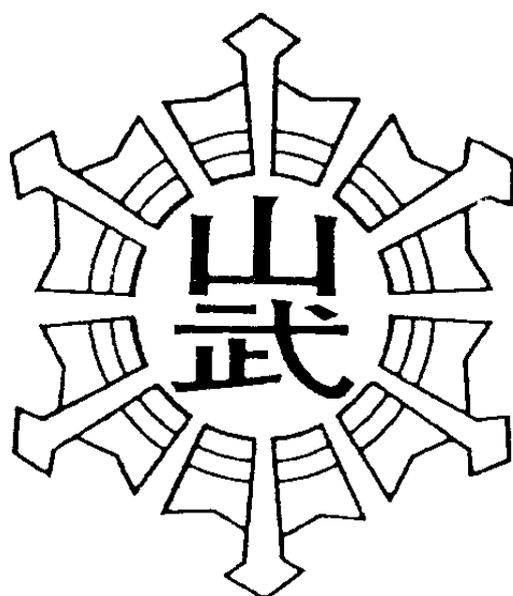


消防年報

平成 2 8 年 版



山武郡市広域行政組合消防本部

は し が き

- 1 この年報は、平成29年4月1日現在の本組合消防における消防現況及び平成28年中の主な消防事情を収録し、消防行政の合理的な運営と消防力の充実育成に資するために編集したものです。
- 2 統計は原則として暦年をもって表わし、予算等に関係のある事項については会計年度としたものです。

平成29年8月

山武郡市広域行政組合消防本部

目 次

総 務

山武郡市広域行政組合格約	1
組合消防の沿革	2
位置と地勢	10
山武郡市広域行政組合消防分布図	11
消防組織図	12
消防庁舎の現況	12
構成市町の概要	13
人口・世帯数の推移	13
対象物との比率	13
職員の定員と現員	13
職員の配置状況	14
職員の階級別勤続年数	14
職員の階級別年齢	14
消防学校等の主な研修	15
職員各種資格取得状況	16
平成 28 年度歳入歳出予算（当初）	17
構成市町負担金	17

予 防

市町別防火対象物数	18
届出及び証明発行件数	18
中高層防火対象物一覧表	19
市町別中高層防火対象物数	19
消防用設備等設置届出受理件数	20
消防用設備等点検結果報告状況	20
業態別建築同意件数	21
防火対象物定期点検報告制度	22
危険物許認可等事務処理状況	22
危険物製造所等設置状況	23

指 令

通信指令システム機器一覧	24
消防救急無線施設の状況	25
通信系統図（消防救急無線系を除く）	26
無線従事者選任状況	27

119番着信状況	27
気象情報受理状況	28
気象状況	28
緊急通報取扱状況	29

警 防

消防自動車等の配置状況	30
消防機材配置状況	31
消防団員数	32
消防団車両数	32
管内消防水利一覧表	32
消防機関の出動状況	33
救急活動状況と過去5年間の比較	34
救急講習会実施状況	34
救急隊別出場状況	35
市町別救急発生状況	35
月別救急出場状況	36
曜日別救急出場状況	37
管内管外搬送人員	37
事故種別年齢区分別搬送人員	37
事故種別傷病程度別搬送人員	38
事故種別搬送人員	38
時間別救急出場状況	39
事故種別応急処置状況	39
市町別ドクターヘリ出動件数一覧表	40
年別救助活動状況	41
救助活動状況	41

火災統計

火災種別発生状況・出火原因別火災件数・建物用途別焼損面積・初期消火器具使用状況	42
火災概況及び比較表	43
市町別火災発生状況	44
火災件数及び損害状況	44
月別火災発生件数及び損害状況	45
時間別火災発生状況	46
曜日別火災発生状況	46
年別火災原因別件数	47

総務

山武郡市広域行政組合規約

(抜粋)

(昭和 46 年 7 月 10 日 千葉県指令 第 1686 号)

(名称)

第 1 条 この組合は、山武郡市広域行政組合（以下「組合」という。）という。

(組合を組織する市町)

第 2 条 組合は、東金市、山武市、大網白里市、九十九里町、芝山町及び横芝光町（以下「関係市町」という。）をもって組織する。

(共同処理する事務)

第 3 条 組合は、次の各号に掲げる事務を共同で処理する。

- (1) 山武郡市の振興整備に関する計画の策定及び実施のための連絡調整に関すること。
- (2) 山武郡市振興センターの設置、管理及び運営に関すること。
- (3) 養護老人ホームの設置、管理及び運営に関すること。
- (4) 老人福祉法（昭和 38 年法律第 133 号）に基づく老人デイサービスセンター（前号に規定する養護老人ホームに併設する老人デイサービスセンターに限る。）の設置、管理及び運営に関すること。
- (5) 電子計算機による処理事務に関すること（横芝光町に係るものを除く。）。)
- (6) 一般廃棄物（し尿及び浄化槽汚泥に係るものに限る。）の処理計画の策定、収集、運搬及び処分に関すること（横芝光町については、別表に掲げる区域とする。）。)
- (7) 一般廃棄物処理業（し尿及び浄化槽汚泥に係るものに限る。）の許可及び浄化槽清掃業の許可に関すること（横芝光町については、別表に掲げる区域とする。）。)
- (8) 火葬場施設の設置、管理及び運営に関すること（横芝光町については、別表に掲げる区域とする。）。)
- (9) 消防事務（消防団事務を除く。）に関すること（横芝光町に係るものを除く。）。)
- (10) 視聴覚教材センターの設置、管理及び運営に関すること。
- (11) 市町職員の共同研修に関すること。
- (12) 市町職員の統一採用試験の事務に関すること。
- (13) 山武郡市急病診療所の設置、管理及び運営に関すること。
- (14) 在宅当番医制事業に関すること。
- (15) 病院群輪番制方式による 2 次救急医療機関運営事業に関すること。
- (16) 介護認定審査会の設置及び運営に関すること。
- (17) 老人ホーム入所判定委員会の設置及び運営に関すること。
- (18) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成 17 年法律第 123 号）に基づく介護給付費等の支給に関する審査会の設置及び運営に関すること。
- (19) 教育相談センターの設置、管理及び運営に関すること。
- (20) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく手話奉仕員養成研修事業に関すること。
- (21) 行政不服審査法（平成 26 年法律第 68 号）第 81 条第 1 項に規定する機関の設置及び運営に関すること。
- (22) 前各号に附帯する事務

(事務所の位置)

第 4 条 組合の事務所は、千葉県東金市東岩崎 1 番地 1 7 山武郡市振興センター内に置く。

組 合 消 防 の 沿 革

- 昭和 42 年 4 月 1 日 東金市消防本部発足 水槽付ポンプ自動車 1 台・普通ポンプ自動車 1 台・指揮車 1 台
- 45 年 12 月 1 日 山武郡市（横芝町を除く。）は、広域組合消防の指定を受け、消防事務を共同処理することを決定した。
- 48 年 4 月 1 日 政令指定を受ける。
消防長に組合管理者石橋一弥氏が事務取扱、次長に金沢禎二氏が就任
山武郡市広域行政組合消防本部発足 構成市町村は、東金市・大網白里町・九十九里町・成東町・山武町・蓮沼村・松尾町・芝山町の 1 市 6 町 1 村、消防職員 31 名東金市消防本部より移行 消防庁舎・車輛等備品類は東金市より贈与される。消防職員 23 名採用、実員 54 名となる。
- 48 年 6 月 26 日 千葉県共済農業共同組合連合から救急車 1 台寄贈される。
芝山町役場内に救急隊（救急車 1 台、隊員 8 名）を配置し、救急業務を開始する。
- 48 年 7 月 1 日 救急車 2 台購入、救急車 4 台となる。
大網白里町・九十九里町・各役場内に救急隊（救急車 2 台、隊員 16 名）を配置し、救急業務を開始する。
- 48 年 10 月 1 日 水槽付ポンプ自動車 3 台・普通ポンプ自動車 1 台購入、ポンプ自動車 6 台となる。
- 48 年 11 月 14 日 連絡車 1 台・査察車 1 台購入、本部に配置する。
- 48 年 12 月 1 日 消防職員 実員 65 名となる。
- 49 年 2 月 1 日 日本自動車工業会から救急車 1 台寄贈され本署に配置、旧救急車を廃車する。
- 49 年 7 月 1 日 普通ポンプ自動車東金市消防団へ払下げ、ポンプ自動車 5 台となる。
- 49 年 8 月 1 日 成東町役場救急業務を引継ぎ救急隊員 8 名を配置し、救急業務を開始する。
- 49 年 10 月 1 日 水槽付ポンプ自動車 2 台購入、ポンプ自動車 7 台となる。
- 49 年 11 月 1 日 九十九里分遣所落成、職員 6 名増員し、分遣所実員 14 名、水槽付ポンプ自動車、救急車各 1 台配置、業務を開始する。
- 49 年 12 月 1 日 大網白里分遣所落成、職員 6 名増員し、分遣所実員 14 名、水槽付ポンプ自動車、救急車各 1 台配置、業務を開始する。消防職員 実員 93 名となる。
- 50 年 1 月 1 日 芝山分遣所落成、職員 6 名増員し、分遣所実員 14 名、水槽付ポンプ自動車、救急車各 1 台配置、業務を開始する。
- 50 年 2 月 23 日 消防長に組合管理者早野尚治氏が事務取扱となる。
- 50 年 4 月 1 日 大網白里・九十九里・芝山分遣所に 2 名増員し、各分遣所実員 16 名となる。
- 50 年 6 月 1 日 山武分遣所落成、職員 16 名、水槽付ポンプ自動車、救急車各 1 台配置、業務を開始する。
- 50 年 8 月 30 日 化学消防自動車 1 台購入、本署に配置する。
- 50 年 11 月 6 日 消防指揮車 1 台購入、本署に配置する。
- 50 年 12 月 31 日 消防職員 実員 115 名となる。
- 51 年 4 月 1 日 東金ライオンズクラブから緊急用赤バイク寄贈される。
- 51 年 9 月 1 日 次長に小出喜朗氏が就任
- 51 年 12 月 31 日 消防職員 実員 123 名となる。
- 52 年 12 月 31 日 消防職員 実員 124 名となる。
- 53 年 3 月 18 日 新東京国際空港公団、成田市消防本部、佐原市外五町消防組合消防本部、佐倉市外 2 町消防組合消防本部、八日市場市外 3 町消防組合消防本部、富里町消防本部、栄町消防本部と新東京国際空港消防相互応援協定を締結する。
- 53 年 6 月 1 日 蓮沼村役場内に救急車 1 台、職員 8 名配置し、救急業務を開始する。

- 昭和 53 年 12 月 31 日 消防職員 実員 134 名となる。
- 54 年 3 月 14 日 化学消防車 1 台購入、芝山分遣所に配置する。
- 54 年 4 月 14 日 千葉県消防設備保守協会から広報車寄贈され、消防本部に配置する。
- 54 年 8 月 29 日 東金ロータリークラブから救急車 1 台寄贈される。
- 54 年 12 月 31 日 消防職員 実員 137 名となる。
- 55 年 3 月 26 日 水槽付ポンプ自動車 1 台、普通ポンプ自動車 1 台、救急車 1 台購入 (東消防署 (仮称) 配置用)
- 55 年 4 月 17 日 日本損害保険協会から水槽付ポンプ自動車 1 台寄贈され、消防署に配置する。
- 55 年 10 月 1 日 東消防署開設準備室を消防署に配置、職員 26 名を配置準備開始する。消防連絡車 3 台購入、東消防署準備室・芝山分遣所・山武分遣所に配置する。
- 55 年 11 月 1 日 成東町に 2 町 1 村 (成東町・松尾町・蓮沼村) の消防業務を実施する東消防署落成。職員 26 名、水槽付ポンプ自動車 2 台、普通ポンプ自動車 1 台、救急車 2 台 (内 1 台予備車) 配置、業務を開始する。同時に機構改革し、消防署を中央消防署に改称。成東救急隊、蓮沼救急隊を廃止する。
- 55 年 12 月 31 日 消防職員 実員 143 名となる。
- 56 年 6 月 1 日 八日市場市外 3 町消防組合消防本部に 119 番転送装置を設置する。(平成 10 年 5 月 31 日解除)
- 56 年 6 月 30 日 消防連絡車 2 台購入、大網白里分遣所・九十九里分遣所に配置する。
- 56 年 12 月 31 日 消防職員 実員 150 名となる。
- 57 年 4 月 1 日 消防職員 実員 155 名となる。
- 57 年 4 月 25 日 消防長に組合管理者野口洋一氏が事務取扱となる。
- 57 年 7 月 1 日 消防長に古川幸男氏が就任
- 57 年 12 月 14 日 救助工作車購入し、中央消防署に配置する。
- 57 年 12 月 27 日 東金市田間 太田昭雄氏から指揮車寄贈され、中央消防署に配置する。
- 58 年 4 月 1 日 消防本部課制施行 (総務課・予防課・警防課) され実員 154 名となる。
- 58 年 8 月 1 日 八日市場市外 3 町消防組合、佐倉市外 2 町消防組合と消防相互応援協定を締結する。
- 58 年 9 月 14 日 消防団本部に消防無線移動局 10W3 基 (東金市、九十九里町、山武町) 配置する。
- 58 年 11 月 17 日 救急車購入し、芝山分遣所に配置する。
- 59 年 1 月 28 日 水槽付ポンプ自動車 1 台購入、東消防署に配置する。
- 59 年 6 月 1 日 佐倉市外 2 町 (組) 消防本部、八街分署に直通電話を設置する。(平成 5 年 9 月 1 日解除)
- 59 年 9 月 1 日 消防団本部に消防無線移動局 10W5 基 (大網白里町、成東町、松尾町、芝山町、蓮沼村) 配置する。
- 59 年 9 月 29 日 水槽付ポンプ自動車 1 台購入、九十九里分遣所に配置する。
- 59 年 9 月 29 日 救急車 1 台購入、大網白里分遣所に配置する。
- 59 年 12 月 25 日 資材運搬車 (軽四輪貨物) 購入、消防本部に配置する。
- 60 年 10 月 1 日 消防音楽隊を発足する。
- 60 年 11 月 8 日 水槽付ポンプ自動車 1 台購入、芝山分遣所に配置する。
- 61 年 3 月 28 日 日本損害保険協会から救急車 1 台寄贈され、中央消防署に配置する。
- 61 年 7 月 1 日 白里救急隊発足、救急業務を開始する。
- 61 年 11 月 18 日 水槽付ポンプ自動車、救急車各 1 台購入、山武分遣所に配置する。
- 61 年 12 月 1 日 白里救急隊庁舎落成。職員 8 名、水槽付ポンプ自動車、救急車各 1 台配置し、消防業務を開始する。
- 62 年 4 月 1 日 大網白里分遣所を南消防署に改称、1 本部、3 署、3 分遣所、1 救急隊となる。

- 昭和 62 年 4 月 1 日 消防職員 実員 160 名となる。
- 62 年 12 月 10 日 水槽付ポンプ自動車、救急車各 1 台購入、中央消防署に配置する。
- 63 年 4 月 1 日 消防本部の組織の一部を改正し、警防課指令係が指令課となり、4 課制となる。
- 63 年 4 月 1 日 消防職員 実員 164 名となる。
- 63 年 5 月 1 日 消防長に片岡六郎氏が就任
- 63 年 7 月 27 日 日本消防協会から電源照明用資器材等搬送車寄贈される。東消防署に配置する。
- 63 年 12 月 15 日 化学消防ポンプ自動車 1 台購入、芝山分遣所に配置する。
- 平成元年 4 月 1 日 無線中継局設置、救急波導入、運用開始する。
- 元年 4 月 1 日 消防職員 実員 165 名となる。
- 元年 10 月 25 日 「千葉市、茂原市及び大網白里町の行政区域にかかるゴルフ場の火災救急等消防活動に関する申し合わせ。」について協定する。
- 元年 12 月 28 日 水槽付ポンプ自動車 1 台購入、南消防署に配置する。
- 3 年 1 月 12 日 水槽付ポンプ自動車 1 台購入、東消防署に配置する。
- 3 年 3 月 28 日 日本損害保険協会から救急車 1 台寄贈され、白里救急隊に配置する。
- 3 年 4 月 1 日 消防長に谷上順氏が就任
- 3 年 9 月 2 日 日本損害保険協会から消防指令広報車寄贈され、消防本部に配置する。
- 3 年 11 月 25 日 水槽付ポンプ自動車 1 台購入、中央消防署に配置する。
- 4 年 2 月 26 日 日本損害保険協会から救急車 1 台寄贈され、九十九里分遣所に配置する。
- 4 年 4 月 1 日 消防職員 実員 169 名となる。
- 5 年 3 月 3 日 梯子付消防自動車 (40m) 1 台購入、中央消防署に配置する。
- 5 年 4 月 1 日 消防職員 実員 173 名となる。
- 5 年 5 月 21 日 広報車 1 台更新、予防課に配置する。
- 5 年 8 月 1 日 消防職員 4 名採用、実員 174 名となる。
- 5 年 11 月 30 日 水槽付ポンプ自動車 1 台購入、九十九里分遣所に配置する。
- 6 年 4 月 1 日 消防職員 15 名採用、実員 186 名となる。
- 6 年 4 月 1 日 消防長職務代理者に次長櫻田光夫氏が就任
- 6 年 8 月 1 日 消防職員 4 名採用、実員 187 名となる。
- 6 年 8 月 31 日 連絡車 1 台更新、東消防署に配置する。
- 6 年 11 月 30 日 連絡車 2 台更新、山武分遣所・芝山分遣所に配置する。
- 7 年 1 月 10 日 化学消防ポンプ自動車 1 台更新、中央消防署に配置する。
- 7 年 3 月 16 日 救急自動車 1 台更新、芝山分遣所に配置する。
- 7 年 4 月 1 日 消防職員 12 名採用、実員 198 名となる。(週 40 時間勤務に対応)
- 7 年 4 月 5 日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ 1 名研修
- 7 年 9 月 8 日 平成 7 年度千葉県救急医療功労者として山武郡市広域行政組合消防本部が表彰される。
- 7 年 11 月 2 日 高規格救急自動車第 1 号を中央消防署へ配置する。(更新)
- 7 年 11 月 6 日 水槽付ポンプ自動車更新、東消防署に配置する。
- 8 年 1 月 17 日 緊急消防援助隊旗交付される。
- 8 年 4 月 9 日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ 1 名研修
- 8 年 4 月 1 日 消防職員 3 名採用、実員 200 名となる。
- 8 年 7 月 30 日 連絡車 1 台更新、九十九里分遣所に配置する。
- 8 年 8 月 29 日 消防職員条例定数改正、258 名となる。(平成 9 年 4 月施行)
- 8 年 10 月 14 日 (財)救急振興財団 救急救命九州研修所へ 1 名研修
- 8 年 10 月 1 日 消防組織法改正に伴い消防職員委員会を設置する。

- 平成9年3月11日 救急自動車(2B)2台更新、東、南消防署に配置する。
- 9年3月31日 救助工作車Ⅱ型更新、中央消防署に配置する。
- 9年4月1日 消防職員6名採用、実員206名となる。
- 9年4月1日 消防長に櫻田光夫氏が就任
- 9年4月8日 (財)救急振興財団 救急救命九州研修所へ1名研修
- 9年6月24日 人員搬送車としてマイクロバスを更新する。
- 9年8月7日 連絡車1台更新、山武分遣所に配置する。
- 9年12月1日 中央消防署増改築工事が完成する。
- 10年3月3日 救急自動車(2B)更新、山武分遣所に配置する。
- 10年4月1日 東金・成東警察署との専用回線を開設する。(平成25年1月31日解除)
- 10年4月1日 消防緊急通信指令施設(Ⅱ型)更新、運用を開始する。
- 10年4月1日 消防職員7名採用、実員212名となる。
- 10年4月1日 松尾町八田地区(約350住戸)の119番通報が全て当消防本部へ入電するようになる。
- 10年4月1日 消防本部の組織の一部を改正し、総務課に財務係、予防課に査察係を設ける。
- 10年5月20日 東消防署訓練施設用地購入(820㎡)に係わる契約を締結する。
- 10年10月8日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 10年12月16日 高規格救急自動車第2号を東消防署に配置する。(更新)
- 11年3月1日 救急自動車(2B)更新、九十九里分遣所に配置する。
- 11年3月23日 南消防署白里救急隊庁舎増築工事が完成する。
- 11年3月31日 指揮原因調査車更新、警防課に配置する。
- 11年4月1日 消防職員7名採用、実員218名となる。
- 11年4月8日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 11年5月1日 書庫の整備(アクアプラント内、庁舎)
- 11年8月1日 成田市・芝山町・山武郡市広域行政組合消防相互応援協定を締結する。
- 11年10月13日 (財)救急振興財団 救急救命九州研修所へ1名研修
- 11年10月24日 指揮車更新、中央消防署に配備する。
- 12年3月21日 救急自動車(2B)更新、芝山分遣所に配備する。
- 12年3月22日 水槽付ポンプ自動車(救助資器材装備)更新、芝山分遣所に配置する。
- 12年4月1日 消防職員7名採用、実員224名となる。
- 12年4月1日 3消防署に日勤の副署長を置く。
- 12年4月10日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 12年5月1日 「消防力適正配置検討委員会」を設置する。
- 12年9月1日 第21回七都縣市合同防災訓練が東金市「千葉県会場」で開催される。
- 12年10月12日 連絡車1台更新、警防課に配置する。
- 13年2月23日 消防力適正配置検討委員会での調査報告書を答申する。
- 13年3月8日 山武郡市広域行政組合消防本部、大網白里町消防団に消防庁長官表彰旗が授与される。
- 13年3月23日 水槽付ポンプ自動車(救助資器材装備)更新、山武分遣所に配置する。
- 13年3月31日 山武郡市振興センター内の消防本部事務室の改修工事が完了する。
- 13年4月1日 消防職員7名採用、実員230名となる。
- 13年4月10日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 13年9月20日 連絡車1台更新、総務課に配置する。
- 13年10月10日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 13年12月17日 水槽付ポンプ自動車更新、中央消防署に配置する。

- 平成 13 年 12 月 21 日 高規格救急自動車第 3 号を南消防署に配置する。(更新)
- 14 年 2 月 6 日 消防施設整備計画を策定する。
- 14 年 4 月 1 日 消防職員 10 名採用、実員 235 名となる。
- 14 年 4 月 1 日 消防長に秋葉治夫氏が就任
- 14 年 8 月 30 日 梯子付消防自動車のオーバーホールを完了する。
- 14 年 9 月 25 日 査察広報車更新、予防課へ配置する。
- 14 年 10 月 1 日 東京消防庁消防学校、救急救命士養成課程へ 1 名研修
- 14 年 11 月 12 日 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練が「さいたま市会場」で開催され、消火部隊が参加する。
- 14 年 12 月 13 日 高規格救急自動車更新、中央消防署に配置する。
- 15 年 1 月 18 日 千葉県主催「防災フェアちば 2003 in 東金」が東金市・山武郡市広域行政組合消防本部
19 日 共催で開催される。
- 15 年 3 月 14 日 芝山分遣所庁舎建設用地購入 (3,642.09 m²)
- 15 年 3 月 25 日 水槽付ポンプ自動車(救助資機材装備)更新、南消防署に配置する。
- 15 年 4 月 1 日 消防職員 12 名採用、実員 242 名となる。
- 15 年 9 月 3 日 広報車 1 台更新、予防課に配置する。
- 15 年 10 月 7 日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ 1 名研修
- 15 年 10 月 28 日 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練が「甲府市会場」で開催され、消火部隊が参加する。
- 15 年 11 月 3 日 今関十九二氏(元職員)叙勲(危険分野)受章
- 16 年 4 月 1 日 消防職員 9 名採用、実員 246 名となる。
- 16 年 4 月 1 日 消防長に古川勝也氏が就任
- 16 年 4 月 5 日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ 1 名研修
- 16 年 10 月 4 日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ 1 名研修
- 16 年 12 月 10 日 水槽付ポンプ自動車更新、東消防署へ配置する。
- 16 年 12 月 15 日 救急自動車(2B)更新、白里救急隊に配置する。
- 17 年 2 月 28 日 芝山分遣所庁舎移転新築工事が完成する。
- 17 年 4 月 1 日 3 分遣所を分署、1 救急隊を出張所と改称する。
- 17 年 4 月 1 日 消防職員 5 名採用、実員 249 名となる。
- 17 年 4 月 1 日 東京消防庁消防学校、救急救命士養成課程へ 1 名研修
- 17 年 4 月 5 日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ 1 名研修
- 17 年 10 月 4 日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ 1 名研修
- 17 年 12 月 20 日 高規格救急自動車第 4 号を山武分署に配置する。(更新)
- 18 年 3 月 27 日 成東町、山武町、松尾町、蓮沼村が合併し、山武市となる。
- 18 年 4 月 1 日 消防職員 5 名採用、実員 251 名となる。
- 18 年 4 月 1 日 消防本部の組織の一部を改正し、総務課に企画係を設け、警防課の救急救助係を救急係に改め、新たに救助係を設ける。
- 18 年 4 月 6 日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ 1 名研修
- 18 年 10 月 1 日 消防職員 1 名採用
- 18 年 11 月 14 日 水槽付ポンプ自動車を更新、中央消防署に配置する。
- 18 年 12 月 22 日 高規格救急自動車第 5 号を九十九里分署に配置する。(更新)
- 18 年 12 月 22 日 高規格救急自動車第 6 号を東消防署に配置する。(更新)
- 19 年 2 月 2 日 千葉県消防広域応援隊合同訓練が「千葉県消防学校」で開催され、第 3 ブロック指揮隊、救助部隊が参加する。
- 19 年 4 月 1 日 消防職員 7 名採用、実員 256 名となる。

- 平成 19 年 4 月 1 日 救急隊 1 隊増隊し高規格救急自動車第 2 号を中央消防署へ配置する。
- 19 年 4 月 6 日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ 1 名研修
- 19 年 9 月 1 日 第 28 回八都県市合同防災訓練が「市原市」で開催され、救助部隊、救急部隊が参加する。
- 19 年 9 月 10 日 横浜市安全管理局、救急救命士養成所へ 1 名研修
- 19 年 10 月 20 日 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練が「前橋市会場」で開催され、消火部隊が参加する。
- 20 年 2 月 1 日 千葉県消防広域応援隊合同訓練が「千葉県消防学校」で開催され、救助部隊が参加する。
- 20 年 2 月 25 日 災害対応特殊化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型）を更新、芝山分署へ配置する。
- 20 年 2 月 29 日 水槽付ポンプ自動車を更新、九十九里分署へ配置する。
- 20 年 4 月 1 日 消防職員 7 名採用、実員 258 名となる。
- 20 年 4 月 1 日 消防長に布留川富夫氏が就任
- 20 年 4 月 4 日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ 1 名研修
- 20 年 9 月 9 日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ 1 名研修
- 20 年 11 月 3 日 小出喜朗氏（元職員）叙勲（危険分野）受章
- 20 年 12 月 3 日 消防職員 1 名採用
- 21 年 1 月 30 日 千葉県消防広域応援隊合同訓練が「千葉県消防学校」で開催され、救助部隊が参加する。
- 21 年 2 月 17 日 災害対応特殊救急自動車第 7 号を芝山分署へ配置する。（更新）
- 21 年 4 月 1 日 消防職員 4 名採用
- 21 年 4 月 6 日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ 1 名研修
- 21 年 9 月 9 日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ 1 名研修
- 21 年 9 月 5 日 第 30 回八都県市合同防災訓練が山武市「千葉県会場」で開催
- 21 年 11 月 3 日 片岡六郎氏（元職員）叙勲（危険分野）受章
- 21 年 11 月 14 日 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練が「千葉市会場」で開催され、消火部隊及び救助部隊が参加する。
- 22 年 4 月 1 日 消防職員 4 名採用
- 22 年 4 月 6 日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ 1 名研修
- 22 年 4 月 29 日 谷上順氏（元職員）叙勲（危険分野）受章
- 22 年 6 月 1 日 消防職員 1 名採用
- 22 年 9 月 9 日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ 1 名研修
- 23 年 1 月 27 日 消防ポンプ自動車（CD-I 型）を更新、白里出張所へ配置する。
- 23 年 3 月 20 日 「東北地方太平洋沖地震」の被災地に緊急消防援助隊千葉県隊第 3 次派遣隊として消火部隊及び後方支援部隊 10 名で、岩手県陸前高田市へ出動する。
- 23 年 3 月 28 日 「東北地方太平洋沖地震」の被災地に緊急消防援助隊千葉県隊第 6 次派遣隊として救急部隊及び後方支援部隊 6 名で、福島県福島市へ出動する。
- 23 年 4 月 1 日 消防職員 5 名採用
- 23 年 4 月 1 日 消防長に元倉斗史一氏が就任
- 23 年 4 月 1 日 条例定数 278 名に改正
- 23 年 4 月 1 日 「東北地方太平洋沖地震」の被災地に緊急消防援助隊千葉県隊第 7 次派遣隊として救急部隊及び後方支援部隊の交代要員として 6 名で、福島県福島市へ出動する。
- 23 年 4 月 4 日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ 1 名研修
- 23 年 9 月 9 日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ 1 名研修
- 24 年 2 月 29 日 東金市家徳に消防本部・中央消防署合同庁舎が完成
- 24 年 3 月 22 日 高規格救急自動車第 1 号更新、中央消防署へ配置する。
- 24 年 3 月 27 日 消防本部・中央消防署合同庁舎落成式開催

- 平成24年4月1日 消防職員12名採用、実員263名となる。
- 24年4月1日 中央消防署へ指揮隊を配置する。
- 24年4月5日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 24年9月10日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 25年1月1日 大網白里町が市制施行し、大網白里市となる。
- 25年1月29日 支援車Ⅱ型1台購入、中央消防署に配置する。
- 25年1月31日 消防本部指令課が消防本部・中央消防署合同庁舎へ移転する。
- 25年2月19日 山武郡市広域行政組合消防庁舎建設基本計画を策定する。
- 25年2月24日 千葉県消防広域応援隊合同訓練が「千葉県消防学校」で開催され、救助部隊が参加する。
- 25年3月21日 高規格救急自動車更新、南消防署に配置する。
- 25年4月1日 ちば消防共同指令センター（千葉県北東部・南部ブロックの20消防（局）本部による）が開設する。
- 25年4月1日 東消防署及び南消防署へ指揮隊を配置する。
- 25年4月1日 消防職員13名採用、実員267名となる。
- 25年4月1日 消防長に大塚雅彦氏が就任
- 25年4月4日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 25年7月25日 連絡車3台購入。中央消防署、東消防署及び南消防署に配置する。
- 25年9月3日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 26年1月24日 災害対応特殊救急自動車更新、中央消防署に配置する。
- 26年1月30日 高規格救急自動車更新、東消防署に配置する。
- 26年2月1日 千葉県消防広域応援隊合同訓練が「千葉県消防学校」で開催され、救助部隊が参加する。
- 26年3月13日 消防ポンプ自動車（CD-I型）更新、南消防署に配置する。
- 26年4月1日 南消防署にポンプ小隊を1隊増隊する。
- 26年4月1日 消防職員15名採用、実員272名となる。
- 26年4月4日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 26年6月27日 南消防署庁舎建設用地購入（3,145.44㎡）
- 26年9月1日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 26年11月3日 秋葉治夫氏（元職員）叙勲（秋の叙勲）受章
- 26年11月3日 小倉静雄氏（元職員）叙勲（危険分野）受章
- 26年11月5日 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練が「浜松市会場」で開催され、消火部隊が参加する。
- 26年11月19日 指揮車更新、東消防署に配置する。
- 27年1月31日 千葉県消防広域応援隊合同訓練が「千葉県消防学校」で開催され、救助部隊が参加する。
- 27年3月12日 化学消防自動車（Ⅱ型）更新、中央消防署に配置する。
- 27年3月12日 消防ポンプ自動車（CD-I型）1台購入、中央消防署に配置する。
- 27年4月1日 消防職員19名採用、実員273名となる。
- 27年4月1日 消防長に押田信明氏が就任
- 27年4月1日 消防本部の組織の一部を改正し、警防課の調査係を予防課調査係に、予防課指導係を予防課危険物係に改める。
- 27年4月3日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 27年4月29日 今関多田雄氏（元職員）叙勲（危険分野）受章
- 27年8月10日 東消防署山武分署庁舎移転工事が完了
- 27年9月2日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 27年9月28日 東消防署山武分署庁舎落成式開催
- 27年11月3日 岩崎喜好氏（元職員）叙勲（危険分野）受章

- 平成27年11月13日 緊急消防援助隊全国合同訓練が千葉県内各地で開催され、当組合消防本部管内の山武市が被災地想定となり、山武市災害対策本部及び当組合消防本部指揮本部が参加する。
- 27年11月14日 緊急消防援助隊全国合同訓練が千葉県内各地で開催され、被災地消防本部として指揮小隊、消火小隊、救助小隊が参加する。
- 28年3月7日 救助工作車(Ⅲ型)1台、高度救助用器具及びNBC資器材購入、中央消防署に配置する。既存救助工作車(Ⅱ型)を東消防署に配置する。
- 28年3月9日 消防ポンプ自動車(CD-I型)2台購入、東消防署及び九十九里分署に配置する。
- 28年3月24日 高度救助隊発隊式開催
- 28年4月1日 中央消防署に高度救助隊、東消防署に特別救助隊、南消防署に救助隊を配置する。
- 28年4月1日 消防職員14名採用
- 28年4月1日 消防長に鈴木嘉宏氏が就任
- 28年4月4日 (財)救急振興財団救急救命東京研修所へ1名研修
- 28年9月1日 (財)救急振興財団救急救命東京研修所へ1名研修
- 28年11月3日 加瀬操氏(元職員)叙勲(危険分野)受章
- 28年12月15日 指揮車更新、南消防署に配置する。
- 29年1月5日 九十九里分署庁舎建設用地購入(4,283.11㎡)
- 29年1月21日 千葉県広域応援隊合同訓練が「千葉県消防学校」で開催され、ブロック方面指揮隊、救助部隊、救急部隊が参加する。
- 29年2月23日 高規格救急自動車第8号を白里出張所に配置する。
- 29年2月25日 高規格救急自動車更新、山武分署に配置する。
- 29年2月28日 高規格救急自動車更新、九十九里分署に配置する。
- 29年2月28日 南消防署移転工事が完了
- 29年3月13日 南消防署庁舎落成式開催
- 29年4月1日 消防職員9名採用

位置と地勢

位置

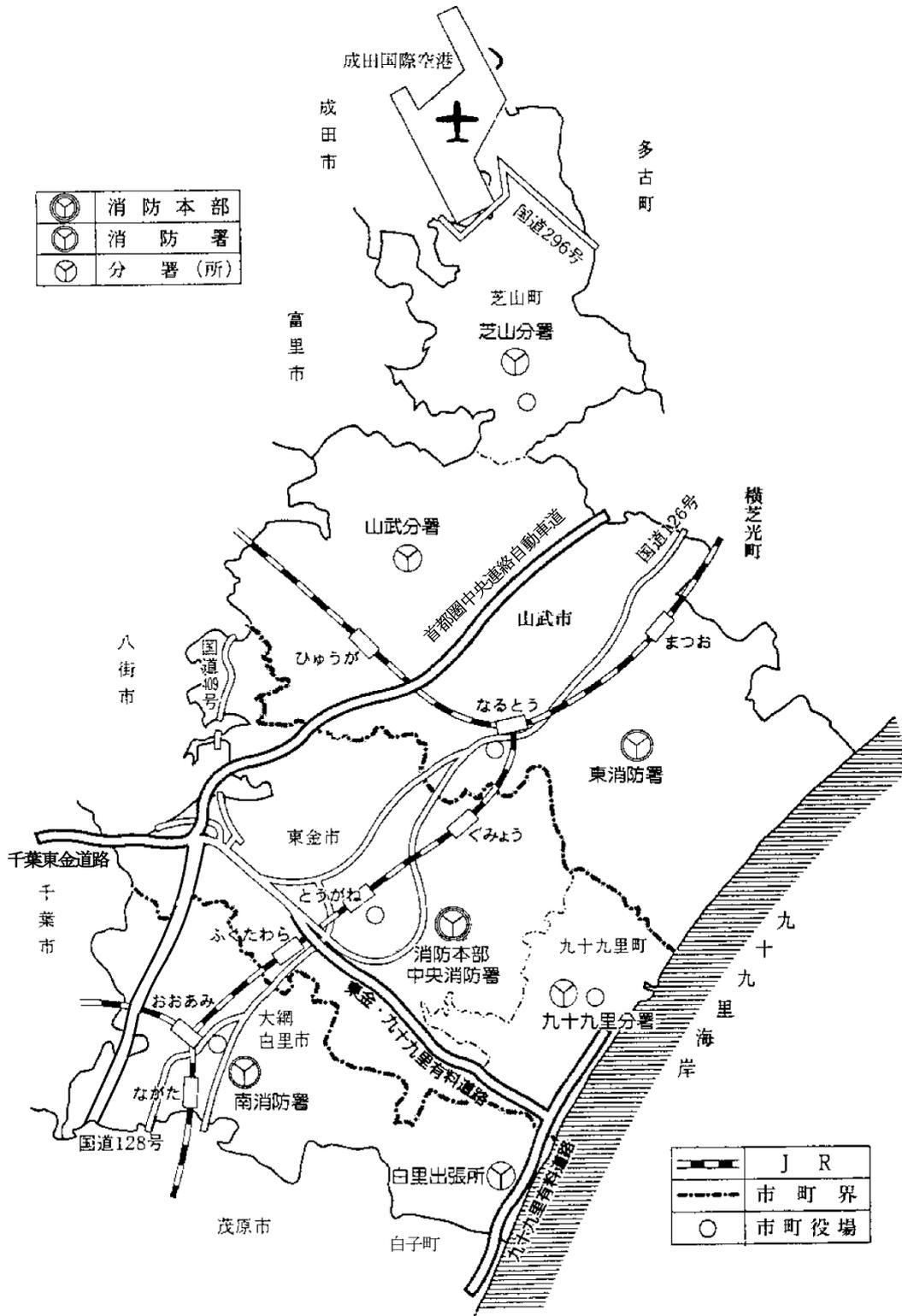
山武郡市は、千葉県の一部に位置し、九十九里平野の中央部と両総台地の一部からなっており、北は香取郡、匝瑳市及び成田市、西は八街市、富里市及び千葉市と接し、更に南は長生郡市に連なり、東方一帯は太平洋に面している。

地勢

地形は、ほぼ矩形をなし、西高東低で東方一帯は緩く九十九里海岸は弓状の長浜となり、南西部から北西部に続く両総台地は、標高 40m から 100m の洪積台地で表面は、一般に関東ローム層に被われている。その中間の平野地帯は、主として低層泥炭地と旧砂丘とからなる洪積平野である。

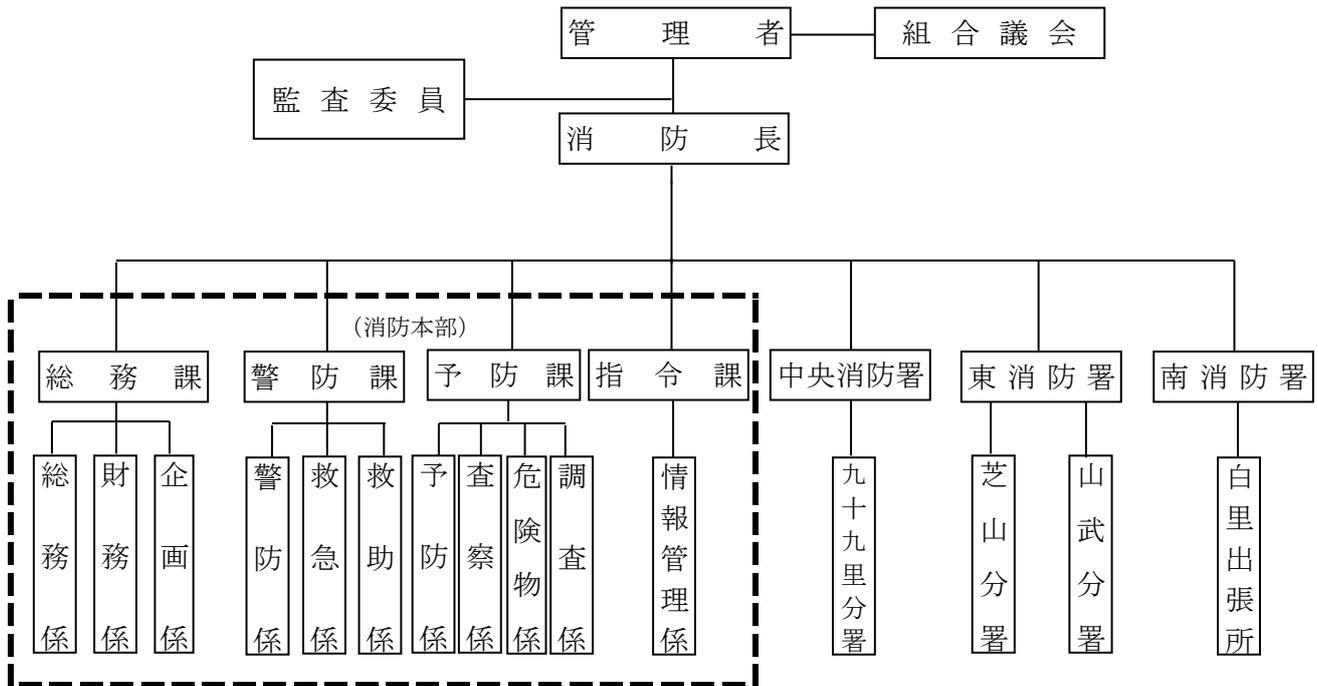


山武郡市広域行政組合消防分布図



消 防 組 織 図

(平成29年4月1日)



消 防 庁 舎 の 現 況

区分 施設名	所在地	建 年 月 日	構 造	延 面 積	敷 地 面 積
消 防 本 部 中 央 消 防 署	東金市家徳384-2	H24. 2	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造4階建	3,679.03㎡	7,008.04㎡
東 消 防 署	山武市上横地6710	S55.10	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造2階建	592.00㎡	5,347.87㎡
南 消 防 署	大網白里市富田860-1	H29. 2	鉄筋コンクリート造 2 階 建	1,439.32㎡	4,858.34㎡
九十九里分署	九十九里町片貝2520-1	S49.11	鉄筋コンクリート造 2 階 建	372.10㎡	1,489.00㎡
芝 山 分 署	芝山町宝馬233	H17. 2	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造2階建	896.00㎡	3,642.09㎡
山 武 分 署	山武市埴谷1874-1	H27. 8	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造2階建	1,538.51㎡	4,617.49㎡
白里出張所	大網白里市南今泉4616-1	S61.12	鉄骨造平屋建	130.01㎡	744.25㎡

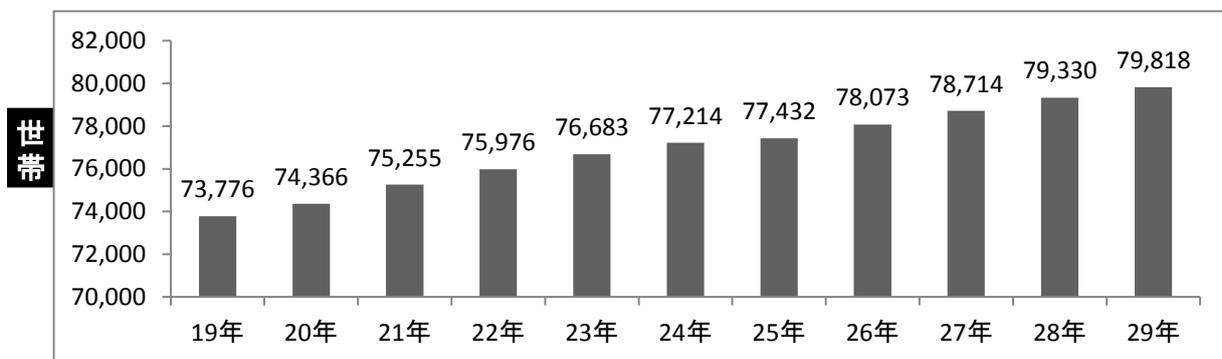
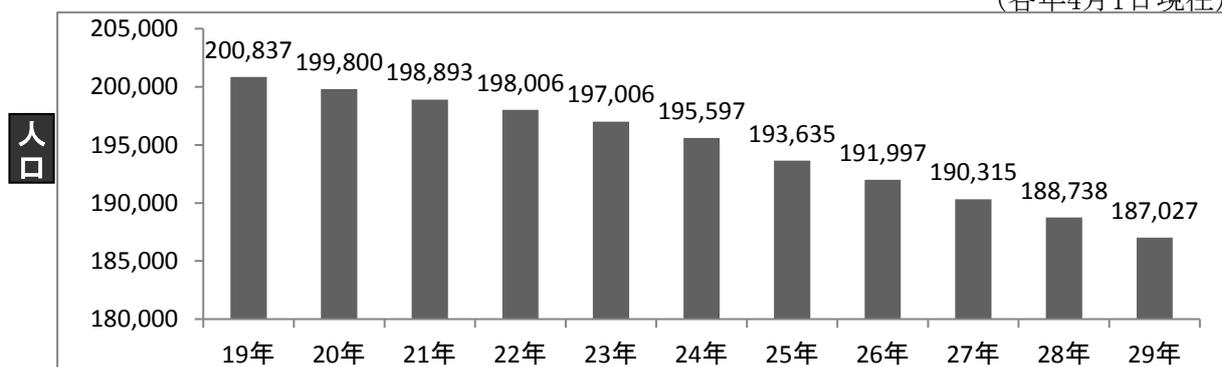
構成市町の概要

(平成29年4月1日現在)

市町名	面積(km ²)	人口(人)			世帯数(世帯)
		男	女	計	
東金市	89.12	29,693	29,978	59,671	26,357
山武市	146.77	26,639	26,537	53,176	22,146
大網白里市	58.08	24,718	25,373	50,091	21,210
九十九里町	24.45	8,202	8,405	16,607	7,167
芝山町	43.24	3,759	3,723	7,482	2,938
計	361.66	93,011	94,016	187,027	79,818

人口・世帯数の推移

(各年4月1日現在)



対象物との比率

(平成29年4月1日現在)

単 位	面 積(km ²)	人 口(人)	世帯数(世帯)
消 防 職 員 1 人 当 り	1.32	682.58	291.31
自 動 車 ポ ンプ 1 台 当 り	27.82	14,386.69	6,139.85

職員の定員と現員

(平成29年4月1日現在)

区分	階級	消 正	防 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	その 他 の 職 員	計
定 員												278
現 員		1	6	10	40	106	30	19	62			274

職員の配置状況

(平成29年4月1日現在)

区分	階級	消 正	防 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士	消 防 長	消 防 副 士 長	消 防 士	その 他 の 職 員	計
本 部	消 防 長	1											1
	総 務 課			1	1	3	4	2					11
	警 防 課			1		4	2	2	1				10
	予 防 課			1	1	1	7				1		11
	指 令 課			1	1	2	7	3			1		15
署 所	中 央 消 防 署			1	1	9	26	8	3	20			68
	九 十 九 里 分 署				1	3	9	1	1	8			23
	東 消 防 署			1	1	6	13	4	5	9			39
	芝 山 分 署				1	3	10	1	1	7			23
	山 武 分 署				1	2	10	2	1	7			23
	南 消 防 署				2	5	13	5	5	9			39
	白 里 出 張 所					2	5	2	2				11
計		1	6	10	40	106	30	19	62			274	

職員の階級別勤続年数

(平成29年4月1日現在)

年 数	階級	消 正	防 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士	消 防 長	消 防 副 士 長	消 防 士	その 他 の 職 員	計
5 年 未 満										5	59		64
5 年 以 上 ～ 10 年 未 満								15	14	3			32
10 年 以 上 ～ 15 年 未 満							23	14					37
15 年 以 上 ～ 20 年 未 満						1	36	1					38
20 年 以 上 ～ 25 年 未 満						7	35						42
25 年 以 上 ～ 30 年 未 満						9	10						19
30 年 以 上		1	6	10	23	2							42
計		1	6	10	40	106	30	19	62				274

職員の階級別年齢

(平成29年4月1日現在)

年 齢	階級	消 正	防 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士	消 防 長	消 防 副 士 長	消 防 士	その 他 の 職 員	計
18 歳 ～ 20 歳											14		14
21 歳 ～ 25 歳										9	42		51
26 歳 ～ 30 歳								12	10	6			28
31 歳 ～ 35 歳							12	16					28
36 歳 ～ 40 歳							47	2					49
41 歳 ～ 45 歳						11	40						51
46 歳 ～ 50 歳						8	4						12
51 歳 ～ 55 歳					5	7							12
56 歳 ～ 60 歳		1	6	10	5	14	3						29
計		1	6	10	40	106	30	19	62				274

消防学校等の主な研修

(平成29年4月1日現在)

区分		年度別	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (予定)	
消防 大学 校	幹部科		1	1	1				
	上級幹部科								
	警防科		1						
	救助科				1		1	1	
	救急科								
	予防科								
	火災調査科			1					
	高度救助・ 特別高度救助コース					2	1	1	
	NBCコース							1	
	県 消 防 学 校	初任科		12	13	15	15	11	13
特殊災害科			2	2	2	2	1	1	
予防査察科					1		1	4	
危険物科					1				
火災調査科						1			
救急科			6	6	8	6	6	7	
救助科			2	2	2	2	2	2	
初級幹部科									
中級幹部科									
訓練指導科			2	2	2	2	2	2	
はしご講習			2	2	2	2	2	2	
救急救命士処置範囲 拡大2行為追加講習						4	8	4	
そ の 他		救急救命士研修所		2	2	2	2	2	2
	指導救命士養成研修				1		1		
	救助潜水土養成講習					4	6	6	
	行政 組合 職員 研修	初級職員研修		2	4	4	6	7	7
		中級職員基礎研修		2	2	2	2	2	2
		中級職員応用研修		2	2	2	2	2	2
		中堅職員基礎研修		2	1	2	2	2	2
		中堅職員応用研修			2	2	2	2	2
		管理職員研修		1	1	1	1	2	2
		接遇セミナー				2			
		人事評価者研修						3	3
		メンタルヘルス セミナー							
	公務員倫理			2					
県自治専門校研修		4	6	6	7	9	8		

職員各種資格取得状況

(平成29年4月1日現在)

種別	階級 消防司令長 以上	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
大型自動車運転免許	14	25	101	23	16	17	196
中型自動車運転免許			2	12	9	15	38
大型特殊運転免許	2	5	4	2	1		14
けん引運転免許			1				1
小型船舶免許		4	39	9	4	2	58
潜水士	1	3	25	9	7	10	55
陸上特殊無線技士	8	36	103	30	19	35	231
甲種危険物取扱者	1		3				4
乙種危険物取扱者 (1～6類)	5	17	55	30	18	31	156
消防設備士甲種	1		1				2
消防設備士乙種	1	2	6	1			10
予防技術資格者	4	5	18	5	1		33
ガス溶接技能講習	12	22	52	6	4		96
アーク溶接技能講習	2	1	5	2	1		11
クレーン免許	3	1					4
小型移動式クレーン	9	16	39	7		2	73
玉掛技能講習	11	11	35	5		1	63
第2種酸素欠乏危険作業 主任者	2		8	5		1	16
第2種酸素欠乏危険作業 特別講習	1	7	6				14
電気工事士(1種)	1						1
ボイラー技士			1				1
衛生管理者	2	4	3				9
救急救命士	1	7	28	7		5	48
ベーシックサーフ ライフセーバー			10	5			15

平成28年度 歳入歳出予算書（当初）

歳 入

(単位 千円)

科 目		本年度予算額	前年度予算額	比 較
1 分担金及び負担金	1 負 担 金	2,795,769	2,712,157	83,612
2 使用料及び手数料	2 手 数 料	1,510	1,265	245
3 国 県 支 出 金	1 国 県 補 助 金	4,751		4,751
4 そ の 他		647,093	916,333	△ 269,240
歳 入 合 計		3,449,123	3,629,755	△ 180,632

歳 出

(単位 千円)

科 目		本年度予算額	前年度予算額	比 較
5 消 防 費	1 消 防 費	3,222,917	3,428,847	△ 205,930
7 公 債 費	1 公 債 費	226,206	200,908	25,298
歳 出 合 計		3,449,123	3,629,755	△ 180,632

構 成 市 町 負 担 金

(単位 千円)

区 分 市町名	議 員 数	本年度予算額	前年度予算額	比 較
東 金 市	2	760,059	739,549	20,510
山 武 市	2	944,317	914,982	29,335
大 網 白 里 市	2	639,893	623,027	16,866
九 十 九 里 町	2	291,673	282,049	9,624
芝 山 町	2	159,827	152,550	7,277
計	10	2,795,769	2,712,157	83,612

予 防

市町別防火対象物数

(平成28年12月31日現在)

令別表項別		市町名	東 金 市	山 武 市	大 網 白 里 市	九 十 九 里 町	芝 山 町	合 計	
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	2				2	4	
	ロ	公会堂、集会場	12	6	6	5	5	34	
2	イ	キャバレー、カフェ、ナイトクラブの類							
	ロ	遊技場、ダンスホール	9	4	1	1	1	16	
	ハニ	風俗営業等(総務省令で定めるもの) カラオケボックス等(総務省令で定めるもの)	2					2	
3	イ	待合、料理店の類	1	1			1	3	
	ロ	飲食店	24	13	7	7	1	52	
4		百貨店、マーケット、物品販売店舗	109	50	35	14	7	215	
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	25	29	16	18	1	89	
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	302	79	87	16	41	525	
6	イ	(1)特に防火対策の必要性が高い病院	3	3	2	3	1	12	
		(2)特に防火対策の必要性が高い有床診療所			1			1	
		(3)(1)及び(2)以外の病院・有床診療所・有床助産所	2						2
		(4)無床診療所及び無床助産所	14	10	7				31
	ロ	(1)老人福祉施設等(自力避難困難者の入所施設等)	12	12	13	5	2	44	
		(2)救護施設							
		(3)乳児院							
		(4)障害児入所施設等							
		(5)障害者支援施設	2	4	3				9
	ハ	(1)老人福祉施設等(ロ以外の老人福祉施設)	12	6	4	1	1	24	
		(2)更生施設							
		(3)助産施設、保育所等	9	9	8	4	3	33	
		(4)児童発達支援センター等							
		(5)身体障害者福祉センター等	1		6	1		8	
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	13	5	12	2	1	33	
7		小学校、中学校、高等学校、大学、各種学校	71	55	31	13	3	173	
8		図書館、博物館、美術館	1	1		3	4	9	
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場	1					1	
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	1					1	
10		車両の停車場、船舶又は航空機の発着場		1	1			2	
11		神社、寺院、教会の類	8	3	2	2		15	
12	イ	工場、作業場	239	255	56	59	117	726	
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ							
13	イ	自動車車庫、駐車場	6	10	2	1	13	32	
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫					2	2	
14		倉庫	185	152	31	33	106	507	
15		前各項に該当しない事業場	164	130	59	29	70	452	
16	イ	特定用途が存する複合用途防火対象物	71	33	34	10	4	152	
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	17	21	8	5	7	58	
16の2		地下街							
16の3		地下道							
17		重要文化財、重要民俗資料、史跡等							
合 計			1,318	892	432	232	393	3,267	

※ 300㎡以上の対象物数

届出及び証明発行件数

(平成28年)

種 別	火 災 予 防 条 例														そ の 他					計									
	禁止行為の解除承認申請	火災予防上の必要な業務に関する計画の提出	防火対象物使用開始(変更)届出	消防訓練実施届出	設置(変更)・廃止届出等	設置(変更)・廃止届出等	電気設備の設置	気球の設置	水素ガスを充てんする行為	火災とまぎらわしい煙又は火炎を発生させるおそれのある行為	煙火打上げ・仕掛け届出	催物開催届出	水道の断水・減水の届出	道路工事の届出	露店等開設の届出	指定洞道の届出	(変更)・廃止届出	(少量危険物の貯蔵・取扱い)	(変更)・廃止届出		指定可燃物の貯蔵・取扱い	工事中の消防計画の届出	(核燃料物質等の貯蔵・取扱い)	又は取扱いの開始(廃止)届出	圧縮アセチレンガス等の貯蔵	防火管理者(選任・解任)届出	消防計画(作成・変更)届出	意見書交付申請	消防法令適合通知書交付申請
	22		139	734	49	92			259	72	14		247	107			33	1	2	1	21	205	245		14	54	8	2,319	

中高層防火対象物一覽表

(平成28年12月31日現在)

令別表項別		階 数																計
		3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	39階			
1	イ 劇場、映画館、演芸場、観覧場																	
	ロ 公会堂、集会場	5	1														6	
2	イ キャバレー、カフェ、ナイトクラブの類																	
	ロ 遊技場、ダンスホール																	
	ハ 風俗営業等(総務省令で定めるもの)																	
	ニ カラオケボックス等(総務省令で定めるもの)																	
3	イ 待合、料理店の類																	
	ロ 飲食店	10															10	
4	百貨店、マーケット、物品販売店舗	16	2			1											19	
5	イ 旅館、ホテル、宿泊所	6	4	4	1		1										16	
	ロ 寄宿舎、下宿、共同住宅	79	28	11	4	2	2	1	3			1	3	1			135	
6	イ (1)特に防火対策の必要性が高い病院	4	3	3	1	1											12	
	(2)特に防火対策の必要性が高い有床診療所		1														1	
	(3)(1)及び(2)以外の病院・有床診療所・有床助産所	1															1	
	(4)無床診療所及び無床助産所	1	2	1													4	
	ロ (1)老人福祉施設等(自力避難困難者の入所施設等)	10		1													11	
	(2)救護施設																	
	(3)乳児院																	
	(4)障害児入所施設等																	
	(5)障害者支援施設																	
	ハ (1)老人福祉施設等(ロ以外の老人福祉施設)	2															2	
	(2)更生施設																	
	ニ (3)助産施設、保育所等																	
	(4)児童発達支援センター等																	
	(5)身体障害者福祉センター等	1															1	
7	小学校、中学校、高等学校、大学、各種学校	40	19	5	2		1										67	
8	図書館、博物館、美術館			1													1	
9	イ 蒸気浴場、熱気浴場																	
	ロ イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場																	
10	車両の停車場、船舶又は航空機の発着場																	
11	神社、寺院、教会の類	2															2	
12	イ 工場、作業場	37	6	4				1									48	
	ロ 映画スタジオ、テレビスタジオ																	
13	イ 自動車車庫、駐車場			1													1	
	ロ 飛行機又は回転翼航空機の格納庫																	
14	倉庫	12	11	5	4		1									33		
15	前各項に該当しない事業場	61	12	7											1		81	
16	イ 特定用途が存する複合用途防火対象物	49	14	2									3				68	
	ロ イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	23	4			1	1										29	
16の2	地下街																	
16の3	地下道																	
17	重要文化財、重要民俗資料、史跡等																	
合 計		363	109	45	12	5	6	2	3			1	6	1	1		554	

市町別中高層防火対象物数

(平成28年12月31日現在)

市町名		階 数																計
		3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	39階			
東	金 市	191	49	23	3	3	2		3				1	1			276	
山	武 市	79	26	7	1	1	2						2				118	
大	網白里 市	48	20	2	4	1	1	1				1	3				81	
九	十九里 町	26	1	1													28	
芝	山 町	19	13	12	4		1	1							1		51	
計		363	109	45	12	5	6	2	3			1	6	1	1		554	

消防用設備等設置届出受理件数

(平成28年)

消 火 器	屋 内 消 火 栓 設 備	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	水 噴 霧 消 火 設 備	泡 消 火 設 備	不 活 性 ガ ス 消 火 設 備	ハ ロ ゲ ン 化 物 消 火 設 備	粉 末 消 火 設 備	屋 外 消 火 栓 設 備	動 力 消 防 ポン プ 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	ガ ス 漏 れ 火 災 警 報 設 備	消 防 機 関 へ 通 報 す る 火 災 報 知 設 備	非 常 警 報 設 備	避 難 器 具	誘 導 灯	消 防 用 水 備	排 煙 設 備	連 結 散 水 設 備	連 結 送 水 管	非 常 コ ン セ ン ト 設 備	無 線 通 信 補 助 設 備	合 計	
74	17	7			2	1	5	4		128		12	15	8	81	1							355

消防用設備等点検結果報告状況

(平成28年)

1	イ	劇 場、映 画 館、演 芸 場、観 覧 場	3
	ロ	公 会 堂、集 会 場	21
2	イ	キ ャ バ レー、カ フ ェ、ナ イ ト ク ラ ブ の 類	
	ロ	遊 技 場、ダ ン ス ホ ー ル	11
	ハニ	風 俗 営 業 等 (総 務 省 令 で 定 め る も の) カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等 (総 務 省 令 で 定 め る も の)	3
3	イ	待 合、料 理 店 の 類	
	ロ	飲 食 店	58
4		百 貨 店、マ ー ケ ッ ト、物 品 販 売 店 舗	200
5	イ	旅 館、ホ テ ル、宿 泊 所	37
	ロ	寄 宿 舎、下 宿、共 同 住 宅	64
6	イ	(1) 特 に 防 火 対 策 の 必 要 性 が 高 い 病 院	10
		(2) 特 に 防 火 対 策 の 必 要 性 が 高 い 有 床 診 療 所	2
		(3) (1) 及 び (2) 以 外 の 病 院・有 床 診 療 所・有 床 助 産 所	1
		(4) 無 床 診 療 所 及 び 無 床 助 産 所	25
		(1) 老 人 福 祉 施 設 等 (自 力 避 難 困 難 者 の 入 所 施 設 等)	59
	ロ	(2) 救 護 施 設	
		(3) 乳 児 院	
		(4) 障 害 児 入 所 施 設 等	
		(5) 障 害 者 支 援 施 設	7
		(1) 老 人 福 祉 施 設 等 (ロ 以 外 の 老 人 福 祉 施 設)	30
	ハ	(2) 更 生 施 設	
		(3) 助 産 施 設、保 育 所 等	33
		(4) 児 童 発 達 支 援 セ ン タ ー 等	
		(5) 身 体 障 害 者 福 祉 セ ン タ ー 等	14
		ニ	幼 稚 園 又 は 特 別 支 援 学 校
7		小 学 校、中 学 校、高 等 学 校、大 学、各 種 学 校	113
8		図 書 館、博 物 館、美 術 館	2
9	イ	蒸 気 浴 場、熱 気 浴 場	
	ロ	イ に 掲 げ る 公 衆 浴 場 以 外 の 公 衆 浴 場	
10		車 両 の 停 車 場、船 舶 又 は 航 空 機 の 発 着 場	1
11		神 社、寺 院、教 会 の 類	1
12	イ	工 場、作 業 場	109
	ロ	映 画 ス タ ジ オ、テ レ ビ ス タ ジ オ	
13	イ	自 動 車 車 庫、駐 車 場	4
	ロ	飛 行 機 又 は 回 転 翼 航 空 機 の 格 納 庫	69
14		倉 庫	104
16	イ	前 各 項 に 該 当 し な い 事 業 場	64
	ロ	特 定 用 途 が 存 す る 複 合 用 途 防 火 対 象 物 イ に 掲 げ る 複 合 用 途 防 火 対 象 物 以 外 の 複 合 用 途 防 火 対 象 物	8
16の2		地 下 街	
16の3		地 下 道	
17		重 要 文 化 財、重 要 民 俗 資 料、史 跡 等	
合 計			1,093

業態別建築同意件数

(平成28年)

令別表項別		年 別						
		24年	25年	26年	27年	28年		
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場						
	ロ	公会堂、集会場		2		2		
2	イ	キャバレー、カフェ、ナイトクラブの類						
	ロ	遊技場、ダンスホール		1			1	
	ハ	風俗営業等(総務省令で定めるもの)						
	ニ	カラオケボックス等(総務省令で定めるもの)						
3	イ	待合、料理店の類						
	ロ	飲食店	6	8	5	1	3	
4		百貨店、マーケット、物品販売店舗	9	19	17	17	12	
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	2	1	1			
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	2	13	3	6	13	
6	イ	(1)特に防火対策の必要性が高い病院	4	6	2	2	1	
		(2)特に防火対策の必要性が高い有床診療所						
		(3)(1)及び(2)以外の病院・有床診療所・有床助産所						
		(4)無床診療所及び無床助産所					3	
	ロ	(1)老人福祉施設等(自力避難困難者の入所施設等)	2	8	4		2	2
		(2)救護施設						
		(3)乳児入院						
		(4)障害児入所施設等						
		(5)障害者支援施設						
	ハ	(1)老人福祉施設等(ロ以外の老人福祉施設)	11	3	3		2	2
		(2)更生施設						
		(3)助産施設、保育所等					2	3
		(4)児童発達支援センター等						
		(5)身体障害者福祉センター等					1	
	ニ	幼稚園又は特別支援学校			1	1		
7		小学校、中学校、高等学校、大学、各種学校	1	3	4	2	2	
8		図書館、博物館、美術館				1	1	
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場						
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場						
10		車両の停車場、船舶又は航空機の発着場						
11		神社、寺院、教会の類	3	6	3	3	5	
12	イ	工場、作業場	16	19	20	22	19	
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ						
13	イ	自動車車庫、駐車場	12	12	10	15	6	
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫				1		
14		倉庫	50	60	58	35	30	
15		前各項に該当しない事業場	42	66	54	51	34	
16	イ	特定用途が存する複合用途防火対象物	4	3	5	3	6	
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物		3	3	1	1	
16の2		地下街						
16の3		地下道						
17		重要文化財、重要民俗資料、史跡等						
		専用住宅	21	17	23	39	12	
		仮設許可申請						
		計画変更申請	7		3	12	23	
		仮使用承認申請						
		その他(許可通知書)		1	5	9	76	
		合 計	192	251	224	230	255	

防火対象物定期点検報告制度

(平成28年12月31日現在)

令別表項別			市町名					合 計	
			東 金 市	山 武 市	大 網 白 里 市	九 十 九 里 町	芝 山 町		
1	イ	観 覧 場	対 象 物	1				1	2
			特 例 認 定						
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	対 象 物	2	3	2	1	1	9
			特 例 認 定	1	2			1	4
2	ロ	遊 技 場	対 象 物	7	3			1	11
			特 例 認 定	1	1				2
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	対 象 物	1					1
			特 例 認 定						
4		店 舗	対 象 物	18	11	9	4	2	44
			特 例 認 定	4	3	2		1	10
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル	対 象 物	3	2	1	1		7
			特 例 認 定		1		1		2
6	イ(1)	特 に 防 火 対 策 の 必 要 性 が 高 い 病 院	対 象 物	2	1	2	1	1	7
			特 例 認 定	1			1		2
	ロ(1)	社 会 福 祉 施 設 等 (自 力 避 難 困 難 者 の 入 所 施 設 等)	対 象 物	1					1
			特 例 認 定						
ハ(1)	社 会 福 祉 施 設 等 (ロ 以 外 の 社 会 福 祉 施 設)	対 象 物	1	2			1	4	
		特 例 認 定							
16	イ	特 定 複 合 用 途 防 火 対 象 物	対 象 物	7	5	1	1		14
			特 例 認 定	2	1		1		4
合 計			対 象 物	43	27	15	8	7	100
			特 例 認 定	9	8	2	3	2	24

※特例認定制度は、防火対象物点検報告が義務付けられている防火対象物で、申請により消防機関が検査を実施し、一定の要件を満たしている防火対象物については、点検・報告に係る規定を3年間適用しない制度です。

危険物許認可等事務処理状況

(平成28年)

申 請 区 分	設 置 許 可 申 請	変 更 許 可 申 請	仮 使 用 承 認 申 請	設 置 完 成 検 査 申 請	変 更 完 成 検 査 申 請	完 成 検 査 前 検 査 申 請	譲 渡 ・ 引 渡 届 出	品 名 ・ 数 量 変 更 届 出	廃 止 届 出	保 安 監 督 者 選 任 ・ 解 任 届 出	完 成 検 査 済 証 再 交 付 申 請	予 防 規 程 制 定 ・ 変 更 申 請	仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱 い 申 請	資 料 提 出 (そ の 1)	資 料 提 出 (そ の 2)	資 料 提 出 (そ の 3)	休 止 ・ 再 開 届 出	許 可 証 等 再 交 付 申 請	申 請 等 取 下 げ 届 出	災 害 発 生 届 出	そ の 他	合 計
件数	4	37	26	5	39	1	16	33	24	37	5	3	1	46	4	88	6	4		2		381

危険物製造所等設置状況

(平成28年12月31日現在)

区分		製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所				総 計		
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所		小 計	
市 町 別 対 象 数	東 金 市	13	41	24	1	25		35	22	148	34	2	20	56	217	
	山 武 市	3	26	32	2	22		43	3	128	41		21	62	193	
	大 網 白 里 市		2	8		9		4	2	25	18		5	23	48	
	九 十 九 里 町	4	8	8	1	6		2	2	27	7		3	10	41	
	芝 山 町		11	7		14		2	1	35	24		7	31	66	
累 年 状 況 数	平成28年	20	88	79	4	76		86	30	363	124	2	56	182	565	
	平成27年	21	87	84	5	83		81	32	372	124	2	58	184	577	
	平成26年	21	87	87	5	85		68	30	362	124	2	60	186	569	
類 別 数	単	第1類	1							1					1	
		第2類														
		第3類														
	独	第4類	11	80	79	4	76		86	30	355	124	2	55	181	547
		第5類		2							2					2
		第6類														
混 在	9	5							5			1	1	15		

※ 完成検査済施設数にて記入

指 令

通信指令システム機器一覧

(平成29年4月1日現在)

指令課情報管理室

	機器項目	構成機器	数量
指令センター関係	情報共有端末装置	本体・ディスプレイ等	1式
	情報共有表示装置	65型ディスプレイ	1台
	車両運用表示盤	65型ディスプレイ	1台
	119ヘルプ機能用電話機		1台
	無停電電源装置		1台
	消防0Aシステム	情報連携装置	1台
	災害状況等自動案内装置	NTTテレトーキ (10回線)	1台
	可搬型端末装置 (指揮隊用)		4台
	ネットワーク設備	アクセスルータ等	2台
	ウェザーニュース気象観測装置	観測装置	1式
消防本部	現場画像伝送装置 (受信用設備)	FOMA回線	1式
	自動気象観測装置	気象情報表示盤・観測装置	1式
	署所監視用装置 (モニター用パソコン)	署所監視用カメラネットワーク中継	1台
	情報収集用TV	32インチTV	1台
	119迂回用電話機		2台
	衛星携帯電話		1台
県	千葉県防災行政無線システム	一斉受令端末装置・テレビ会議装置等	1式
	千葉県防災情報システム	防災情報システムパソコン・回転灯等	1式
市町関係	東金市防災行政無線	遠隔制御装置	1台
	山武市防災行政無線	遠隔制御装置	1台
	大網白里市防災行政無線	遠隔制御装置	1台
	九十九里町防災行政無線	遠隔制御装置	1台
	芝山町防災行政無線	遠隔制御装置	1台

消防署・分署・出張所

	機器項目	構成機器	数量
指令センター関係	署所端末装置		7台
	無線指令受付装置		7台
	駆けつけ通報装置	駆けつけ通報電話機・監視カメラ	6式
	指令情報出力装置	本体・ディスプレイ等	7式
	無停電電源装置		7台
	署所用非常用発動発電機		3台
	車両運用表示盤	15車両用1台・8車両用6台	7台
	避雷装置	高速電源避雷器7台 (高速回線避雷器1台)	7台

各車両

	機器項目	構成機器	数量
車両	車両運用端末装置 (Ⅲ型)	ナビ・GPS付AVM装置	32台
	車両運用端末装置 (Ⅱ型)	GPS付AVM装置	6台

消防救急無線施設の状況

(平成29年4月1日現在)

<消防救急デジタル無線システムの概要>

ちば消防共同指令センター 無線統制局 (千葉市消防局内)	無線回線制御装置	指令センターに配備され、各基地局の監視制御、基地局無線回線の制御、指令センター設備と無線通信回線の接続制御を行うための装置	
	無線統制卓	無線統制を行うため、指令系装置及び遠隔制御器より上位に位置し、通信統制に係る処理が優先される	
	基地局名	施設名	指定通信エリア
共通波基地局	県域消防長生	長生合同庁舎	東金市・大網白里市・九十九里町
	県域消防匝瑳	海匠土木事務所	山武市・芝山町
活動波基地局	県域消防山武	山武土木事務所	東金市・大網白里市・九十九里町
	県域消防山武芝山	芝山分署	山武市・芝山町
消防本部指令課情報管理室	遠隔制御器	管轄エリア内の消防救急車両等と無線通信を行うための装置	

<所属別の無線通信設備等の状況>

区 分	所 属 別								計
	消防本部	中央消防署	九十九里分署	東消防署	山武分署	芝山分署	南消防署	白里出張所	
卓上型固定移動局無線装置 (D)	1								1
実装～①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪									
卓上型固定移動局無線装置 (A)	1								1
実装～防災相互波									
車載型移動局無線装置 (D)	4	10	4	5	4	4	4	3	38
実装～①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪									
可搬型移動局無線装置 (D)	1	1	1	2	1	1	2	1	10
実装～①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪									
携帯型移動局無線装置 (D)	4	10	4	5	4	4	4	3	38
実装～①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪									
車載型受令機 (D)	2								2
実装～①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪									
署活動用トランシーバー	8	28	13	17	9	9	13	4	101

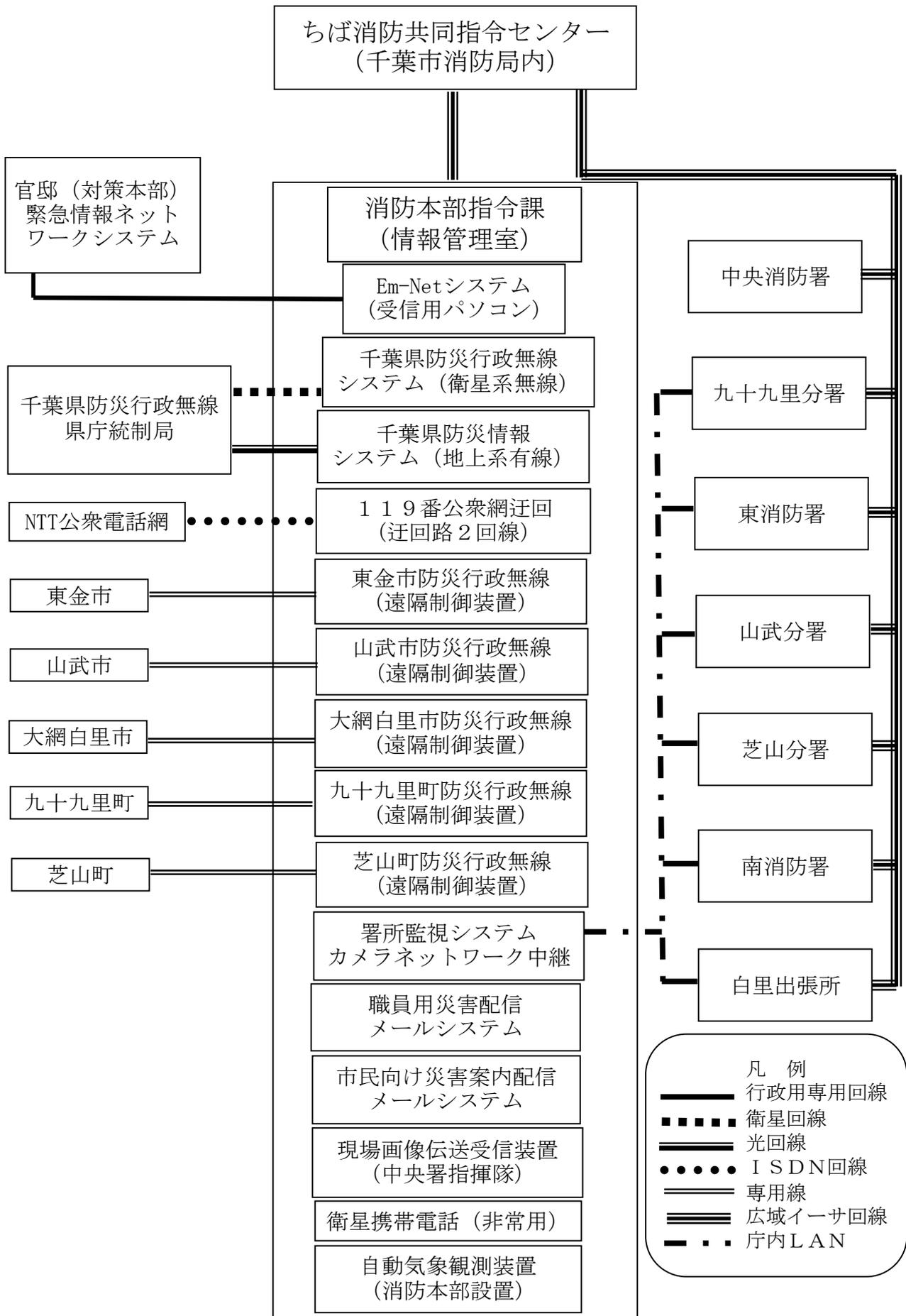
特記事項～ (D) はデジタル、(A) アナログ

消防救急デジタル無線 (260MHz帯)

- ① 共通波 (統制波) 3波
- ② 共通波 (主運用波) 1波 (千葉県)
- ③ 共通波 (主運用波) 7波
- ④ 活動波 (山武郡市広域行政組合消防本部) 3波
- ⑤ 活動波 (千葉市消防局) 9波～隣接応援時
- ⑥ 活動波 (成田市消防本部) 4波～隣接応援時
- ⑦ 活動波 (富里市消防本部) 2波～隣接応援時
- ⑧ 活動波 (長生郡市広域市町村圏組合消防本部) 3波～隣接応援時
- ⑨ 活動波 (匝瑳市横芝光町消防組合消防本部) 2波～隣接応援時
- ⑩ 活動波 (香取広域市町村圏事務組合消防本部) 3波～隣接応援時
- ⑪ 活動波 (佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部) 4波～隣接応援時

通信系統図（消防救急無線系を除く）

（平成29年4月1日現在）



無線従事者選任状況

(平成29年4月1日)

	所 属	消 防 本 部	中 央 消 防 署	九 十 九 里 分 署	東 消 防 署	芝 山 分 署	山 武 分 署	南 消 防 署	白 里 出 張 所	合 計
区 分										
選 任 者		44	62	20	32	19	18	35	11	241

119番着信状況

(平成28年)

項目	災 害					問 合 せ	間 違 え	試 験	そ の 他	計
	火 災	救 急	救 助	そ の 他	続 報					
1月	15	742	5	70	58	162	37	18	73	1,180
2月	12	640	7	69	49	146	31	18	60	1,032
3月	7	706	7	73	37	116	32	40	73	1,091
4月	10	660	6	50	24	127	36	31	67	1,011
5月	11	683	9	59	40	149	41	28	76	1,096
6月	6	667	8	64	28	124	40	24	65	1,026
7月	9	702	11	64	48	162	39	26	88	1,149
8月	14	837	6	153	52	233	49	13	152	1,509
9月	9	750	13	89	22	148	36	40	79	1,186
10月	9	717	2	99	29	134	25	29	80	1,124
11月	6	665	8	71	18	103	31	36	90	1,028
12月	12	784	7	102	42	194	26	38	87	1,292
計	120	8,553	89	963	447	1,798	423	341	990	13,724

※ちば消防共同指令センター統計参照

気象情報受理状況

千葉県北東部調べ
(平成28年)

種別 月別	警 報								注 意 報																		
	大 雨	洪 水	大 雪	暴 風	暴 風 雨	波 浪	高 潮	暴 風 雪	計	大 雨	洪 水	大 雪	強 風	風 雪	波 浪	高 潮	濃 霧	雷 電	乾 燥	な だ れ	着 氷	着 雪	融 雪	霜	低 温	計	
1月						5			5				17		20		1		36								74
2月				1		2			3	1	1		18		33		1	11	30								95
3月									0	3	3		16		42		10	9	17					11		111	
4月				1					1	2	2		25		63		20	9	10					8		139	
5月									0	7	7		17		37		18	4	7							97	
6月									0	8	8		19		34		17	27	1							114	
7月	6	5							11	11	10		5		7		29	43								105	
8月	13	12		4		16			45	37	37		20		39	4	6	75								218	
9月	6	4							10	28	27		16		41	4	16	56								188	
10月									0	5	5		15		34		4	5	4							72	
11月									0	6	4		18	2	41		6	12	6							95	
12月									0	4	4		28		40	3	2	10	27							118	
計	25	21	0	6	0	23	0	0	75	112	108	0	214	2	431	11	130	261	138	0	0	0	0	19	0	1,426	

気象状況

観測 消防本部
(平成28年)

月別 区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
気温 ℃	最高	16.5	21.0	19.3	26.4	26.7	29.1	32.3	35.7	33.1	29.7	19.9	19.8
	最低	-1.0	-0.6	0.0	3.1	11.2	12.3	17.8	21.2	17.8	8.8	0.9	-1.5
	平均	5.7	6.7	9.3	14.9	18.9	21.5	24.3	26.1	24.1	18.5	11.2	8.6
湿度 %	最高	97.4	93.9	97.7	97.9	96.7	97.7	97.3	97.4	98.0	97.8	97.5	96.8
	最低	41.1	48.6	51.5	52.7	54.4	67.1	80.9	74.2	76.6	72.1	62.5	51.9
	平均	74.5	76.9	80.4	82.0	84.0	88.2	91.4	90.4	93.3	85.4	85.4	74.2
最多風向	N	NE	NE	SSW	SSW	SSW	NE	NE	NE	NE	N	N	
天候 日数	晴	22	16	14	15	22	12	18	12	9	15	14	17
	曇	5	6	10	6	1	8	7	7	8	8	6	6
	雨	4	7	7	9	8	10	6	12	13	8	10	8
	雪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雨量mm	86.0	57.5	81.5	67.5	90.5	106.5	41.0	197.0	247.0	62.5	151.0	67.5	

緊急通報取扱状況

(平成28年)

月別	覚知別	報 知 電 話	加 入 電 話	携 帯 電 話	警 察 電 話	そ の 他	計
	災害別						
1月	火 災	6	1	8			15
	救 急	525	7	278	20	10	840
	その他	3	2	9	1	3	18
2月	火 災	5		9	1		15
	救 急	462	5	242	21	11	741
	その他	8	1	6	2	6	23
3月	火 災	5		6	1		12
	救 急	500	4	260	27	11	802
	その他	5		4	1	9	19
4月	火 災	5		5			10
	救 急	428	4	257	17	7	713
	その他	4	5	9	1	5	24
5月	火 災	1		11		1	13
	救 急	454	4	278	19	8	763
	その他	3	2	4		4	13
6月	火 災	4		3	2	1	10
	救 急	432	5	283	18	6	744
	その他	6	1	5	1	5	18
7月	火 災	4	1	5			10
	救 急	416	17	337	26	7	803
	その他	7	1	6	2	7	23
8月	火 災	6	1	8			15
	救 急	549	1	396	21	6	973
	その他	12		19	2	6	39
9月	火 災	4	1	5	1		11
	救 急	505	3	322	26	6	862
	その他	7		11	1	3	22
10月	火 災	7		4	3		14
	救 急	489	1	309	20	11	830
	その他	14	1	11	2	5	33
11月	火 災	2	1	5			8
	救 急	455	7	272	28	9	771
	その他	3		4	2	4	13
12月	火 災	4		9	2		15
	救 急	529	9	348	21	12	919
	その他	4	1	5		4	14
計	火 災	53	5	78	10	2	148
	救 急	5,744	67	3,582	264	104	9,761
	その他	76	14	93	15	61	259

警 防

消防自動車等の配置状況

(平成29年4月1日現在)

所属	車両名称	車両番号	車種	年式	出力(cc)	緊急消防援助隊登録	千葉県消防広域応援隊登録
消防本部	指令車	千300ら5001	トヨタ	平成16年	2,990		
	連絡車	千500も6855	三菱	平成13年	1,460		
	連絡車	千54ち7978	トヨタ	平成6年	1,330		
	連絡車	千500ふ3019	トヨタ	平成12年	1,490		
	連絡車	千562に・・55	ニッサン	平成27年	1,990		
	マイクロバス	千22さ8995	トヨタ	平成9年	4,160		
	予防査察車	千800す4360	ニッサン	平成14年	1,990	○	●
	広報車	千501な5162	ニッサン	平成15年	1,990		
	調査車	千800さ8060	マツダ	平成12年	1,990		
	指揮統制車	千800さ2586	トヨタ	平成11年	2,980		●
高規格救急車	千830さ8752	トヨタ	平成18年	2,690			
中央消防署	指揮車	千800さ4461	トヨタ	平成11年	1,990		
	消防ポンプ自動車	千830す1191	日野	平成27年	4,000		
	化学消防自動車	千830せ1192	日野	平成27年	6,400	○	●
	水槽付き消防ポンプ自動車	千800す2251	イスズ	平成13年	8,220		
	救助工作車	千830さ3690	日野	平成28年	8,860	○	●
	支援車	千830さ3640	日野	平成25年	6,400	○	●
	梯子車	千88に5601	日野	平成5年	17,230		
	高規格救急車	千830せ2500	トヨタ	平成24年	2,690		
	高規格救急車	千830す2501	トヨタ	平成26年	2,690	○	●
連絡車	千502み5327	ニッサン	平成25年	1,990			
九十九里分署	消防ポンプ自動車	千830た9901	日野	平成28年	4,000	○	●
	水槽付き消防ポンプ自動車	千831ほ・119	イスズ	平成20年	5,190		
	高規格救急車	千830す4550	トヨタ	平成29年	2,690		
	指揮支援車	千88せ2861	トヨタ	平成8年	1,990		
東消防署	指揮車	成800さ1460	トヨタ	平成26年	2,690		●
	消防ポンプ自動車	成830さ3611	日野	平成28年	4,000	○	●
	水槽付き消防ポンプ自動車	千800す9748	イスズ	平成16年	7,160		
	救助工作車	千88に6278	イスズ	平成9年	8,220		●
	高規格救急車	成830す3119	トヨタ	平成26年	2,690		
連絡車	成500そ8382	ニッサン	平成25年	1,990			
芝山分署	水槽付き消防ポンプ自動車	千800さ5927	イスズ	平成12年	8,220		
	化学車	成830そ・119	イスズ	平成20年	5,190	○	●
	高規格救急車	成830さ1412	トヨタ	平成21年	2,690		●
	指揮支援車	千88せ1453	トヨタ	平成7年	1,990		
山武分署	水槽付き消防ポンプ自動車	千800さ9801	イスズ	平成13年	8,220		
	水槽付き消防ポンプ自動車	千800は1417	イスズ	平成18年	7,160		
	高規格救急車	成830さ20	トヨタ	平成29年	2,690		
	指揮支援車	千88せ5734	トヨタ	平成9年	1,990		
南消防署	指揮車	千830さ3731	トヨタ	平成28年	2,690		
	消防ポンプ自動車	千830す3208	日野	平成26年	4,000		
	水槽付き消防ポンプ自動車	千800す5604	イスズ	平成15年	8,220	○	●
	高規格救急車	千830さ3208	トヨタ	平成25年	2,690		
	連絡車	千502み5326	ニッサン	平成25年	1,990		
白里出張所	消防ポンプ自動車	千830さ2030	イスズ	平成23年	2,990		●
	高規格救急車	千830す2030	トヨタ	平成29年	2,690		
	連絡車	千80あ・551	三菱	平成6年	650		

消防機材配置状況

(平成29年4月1日現在)

区分	機材名	所属							計	区分	機材名	所属							計
		中央消防署	九十九里分署	東消防署	芝山分署	山武分署	南消防署	白里出張所				中央消防署	九十九里分署	東消防署	芝山分署	山武分署	南消防署	白里出張所	
一般救助器具	三連梯子	4	2	3	2	2	2	1	16	呼吸器	酸素呼吸器	5		1					6
	かぎ付梯子	5	2	3	2	2	1		15		酸素ボンベv1.5(200ℓ)			6					6
	金属製折りたたみ梯子			1					1		" v2.0(200ℓ)	10							10
	ワイヤー梯子	1		1					2		" v2.0(300ℓ)	29	3	17	3	4	3	2	61
	救命索発射銃	1		1			1		3		" v2.8(200ℓ)	2							2
	縛帯	3		3	3	2	4		15		" v3.4(500ℓ)			12					12
	サバイバースリング	3		2			1		6		" v6.9(1000ℓ)			2					2
	平担	1		1			1		3		" v10.3(1500ℓ)	40	2	25	3	3	2	2	77
	バスケット担架	1		1	1	1	1		5		簡易呼吸器	10		6			3		19
	滑車	10		13	9	7	7		46		防塵マスク	5		5					10
器具	緩降機	1		1			1		3	送排風器	2		1					3	
	ソフトランディング	1		1			1		3	陽圧送風機	2	1	1					4	
	航空機災害用担架				50	90			140	エアージェット	1		1					2	
	油圧救助器具	1		1					2	赤外線熱画像カメラ	1		2			1		4	
	マット型空気ジャッキ	5		6	3	3	5		22	簡易画像探索器	1		1					2	
	マンホール救助器具	2		1			1		4	信号付投光器	2	1	2					5	
	可搬式ウインチ	1	1	2	1	1	3		9	高度画像探索機	1		1					2	
	チェーンブロック	1		1					2	地中音響探知機	1							1	
	スリングワイヤー	15	3	14	7	9	16	2	66	熱画像直視装置	1							1	
	エンジンカッター	4	4	4	3	3	3	1	22	夜間用暗視装置	5							5	
切断器具	チェーンソー	4	2	3	2	3	1	1	16	地震警報器	1							1	
	コンクリート・鉄筋切断用チェーン	1							1	電磁波探査装置	1							1	
	アセチレンガス溶断器			1					1	二酸化炭素探査装置	1							1	
	油圧カッター	1		1			1		3	大型除染シャワーテント	1							1	
	エアーカーター	1		1			1		3	除染シャワー	2							2	
	鉄線カッター	5	2	4	2	2	2	1	18	除染剤散布器	3							3	
	エアーソー	1		1	1	1	1		5	除染(オゾン)装置	1							1	
	酸素切断機	1		1					2	ウェットスーツ	9	2	4			4	2	21	
	レシプロソー	1		1					2	水難用ヘルメット	10		4			4		18	
	エンジンポンプ	1	1	1	1	1	1		6	水難用手袋	5		2	4		4		15	
油圧器具	ハンドポンプ	1		1			2		2	水難用ブーツ	16	2	4			4		26	
	電動ポンプ			1					1	レスキューボード	2							2	
	スプレッター	3		1			1		5	救助用胸付き長靴	5							5	
	コンビネーションツール	2	1	1	1	1			6	レスキューチューブ	3	2	3			2	1	11	
	ラムシリンダー	1		1			1		3	救命胴衣	34	12	17	7	3	14	6	93	
	削岩機	1		2			3		3	拡張ボート	1		2			2		5	
	万能斧	13	5	6	2	2	4	1	33	救命浮環	7	3	6	3	2	3	2	26	
	携帯用コンクリート破壊器具	1		1					2	スバリ	4	3	2	2	2	4		17	
	大ハンマー	5	2	2	1	1	2	1	14	水中眼鏡	7	2	4			3	2	18	
	電気ハンマードリル	1		1					2	浮きロープ	1	4	2	1	1	2		11	
隊員保護用具	高圧活線警報器	5							5	フローティング担架	1							1	
	防毒マスク	10		5					15	水中無線機	6							6	
	放射線防護服	4		2					6	水面救助用ドライスーツ	5							5	
	陽圧式化学防護服	7							7	ドライスーツ	5							5	
	化学防護服	2							2	水中投光器	1							1	
	耐熱服	8			2				10	車両移動器具	1							1	
	耐電衣・上下	12	3	8	2		5		30	衛星携帯電話	1							1	
	耐電手袋	13	5	9	2	2	11	2	44	コンクリート探知機	1							1	
	耐電長靴	12	5	8	2	2	5	2	36	放射温度計	1							1	
	安全帯	14	2	9	4	5	2		36	合成界面活性剤泡消火薬剤	103	2	2	66	4	1	3	181	
測定器具	蛍光チョッキ	31	9	13	11	7	6	4	81	水成膜泡消火薬剤	45		4	10	2	3		64	
	防塵メガネ	5		6					11	船外機	1							1	
	携帯警報器	15	3	12			10		40	エコファイターノズル	2	2	2			2		8	
	検電器	2		2			2		6	ガンタイプノズル	6	3	2			2		13	
	可燃性ガス測定器	5	2	3	2	2	3	1	18	ミラクルフォーム	25	5	13			20		63	
	有毒ガス測定器	2		1			1		4	発電式投光器一式	4	1	3	2	2	4	1	17	
	携帯型化学検知器	1							1	エアージェット	3							3	
	生物剤検知器	1							1	ジェットシューター	13	7	6	8	9	7	4	54	
	放射線測定器	7		2		1	1	1	12	ウォーターチャージャー	1	2	2	1	1	1		8	
	個人線量計	18	4	8	1	4	4	4	43	エアフォームノズル	3	1	2	3	2	1	1	13	
呼吸保護器具	空気呼吸器	22	10	20	8	9	14	4	87	簡易発泡器		1	1	1	1	1		5	
	空気ボンベv8.0(15Mp)	33		14	7	6	17	1	78	中発泡器	1							1	
	" v8.4(15Mp)軽量				1	3	3		7	ラインプロポーションナー	3	1	2	2	2	1	1	12	
	" v4.7(30Mp)軽量	4		4			5		13	携帯用ハンドマイク	10	4	6	3	4	7	1	35	
	" v6.8(30Mp)軽量	50	25	33	19	6	18	8	159	フオグガン	1	4	3	4	3	2	1	18	
	" v9.0(30Mp)軽量	12							12										
	" v9.2(30Mp)軽量	2							2										
	" v10.0(15Mp)			5			2		7										

消 防 団 員 数

(平成29年4月1日現在)

市町名 階 級		東 金 市	山 武 市	大網白里市	九十九里町	芝 山 町	計
		団 長	1	1	1	1	
副 団 長	10	8	5	5	5	33	
分 団 長	7	27	4	14	19	71	
副 分 団 長	14	13	4	8	7	46	
部 長	16	48	12	19	19	114	
班 長	30	96	27	133	57	343	
団 員	415	639	399	163	248	1,864	
計	493	832	452	343	356	2,476	

消 防 団 車 両 数

(平成29年4月1日現在)

市町名 車 種		東 金 市	山 武 市	大網白里市	九十九里町	芝 山 町	計
		指 揮 車	1	3	1	1	
水槽付ポンプ車	13	11	13	9	6	52	
普通ポンプ車		5		6	1	12	
積載ポンプ車	17	31	14	4	13	79	
電源照明車		1				1	
水 槽 車	1				1	2	
資 材 車	1	1		1		3	
広 報 車		1	1		1	3	
消防緊急自動二輪	3	3				6	
計	36	56	29	21	23	165	

管 内 消 防 水 利 一 覧 表

(平成29年4月1日現在)

市町名 種 別		東 金 市	山 武 市	大網白里市	九十九里町	芝 山 町	計
		消 火 栓	756	917	757	212	
貯水 槽	40 m ³ 以上	143	371	211	37	254	1,016
	40 m ³ 未 満	349	479	7	56	51	942
貯 水 池		11	14		1	26	
河 川	4	12	46		2	64	
プ ー ル	10	18	10	4	2	44	
消 火 井 戸	74	8		336	2	420	
計	1,336	1,816	1,045	645	376	5,218	

消 防 機 関 の 出 動 状 況

(平成28年)

区分		種別	計	火 災	風水害等 の 災 害	演 習 ・ 訓 練 等	救 急	救助活動	広 報 ・ 指 導
消 防 本 部	出 動 回 数		382		1	1	1		27
	出 動 延 人 員		824	5	3	8	3	7	59
中 央 署 管 内	出 動 回 数		5,953	31	27	10	4,603	97	166
	出 動 延 人 員		20,618	444	112	83	13,817	967	815
東 署 管 内	出 動 回 数		4,075	41	23	19	2,777	35	195
	出 動 延 人 員		14,713	479	84	99	8,331	369	1,057
南 署 管 内	出 動 回 数		3,678	20	18	3	2,812	43	119
	出 動 延 人 員		12,229	214	71	10	8,437	410	535
合 計	出 動 回 数		14,088	92	69	33	10,193	175	507
	出 動 延 人 員		48,384	1,142	270	200	30,588	1,753	2,466

区分		種別	警防調査	火災調査	特別警戒	捜索	予防査察	誤報	その他
消 防 本 部	出 動 回 数			67			281		4
	出 動 延 人 員			146			585		8
中 央 署 管 内	出 動 回 数		29	16	3	1	251	80	639
	出 動 延 人 員		121	56	15	22	1,105	602	2,459
東 署 管 内	出 動 回 数		78	20	3	4	306	45	529
	出 動 延 人 員		347	105	8	15	1,393	338	2,088
南 署 管 内	出 動 回 数		50	23	1	1	141	42	405
	出 動 延 人 員		142	89	4	3	537	259	1,518
合 計	出 動 回 数		157	126	7	6	979	167	1,577
	出 動 延 人 員		610	396	27	40	3,620	1,199	6,073

救急活動状況と過去5年間の比較

(平成28年)

区分	年別		24	25	26	27	28
	事故種別						
出場件数	計		9,465	9,867	10,133	10,174	10,193
	火災	98	98	66	69	53	
	自然災害		8	4		6	
	水難	28	41	17	25	17	
	交通事故	1,169	1,062	1,003	1,020	994	
	労働災害	101	95	107	105	95	
	運動競技	65	56	62	63	48	
	一般負傷	1,157	1,317	1,349	1,326	1,315	
	加害	60	73	80	54	64	
	自損行為	124	145	132	98	94	
	急病	5,831	6,185	6,287	6,395	6,391	
	その他	832	787	1,026	1,019	1,116	
(上記のうち不搬送)		1,227	1,455	1,540	1,766	1,600	
搬送人員	計		8,403	8,574	8,727	8,541	8,754
	火災	18	12	15	15	7	
	自然災害		1	1		7	
	水難	11	6	5	12	10	
	交通事故	1,138	1,060	949	952	967	
	労働災害	101	93	104	99	88	
	運動競技	58	53	62	59	43	
	一般負傷	1,048	1,142	1,190	1,120	1,127	
	加害	45	52	55	39	35	
	自損行為	77	98	85	54	61	
	急病	5,089	5,316	5,358	5,292	5,426	
	その他	818	741	903	899	983	
一日平均	出場件数	25.9	27.0	27.8	27.9	27.8	
	搬送人員	23.0	23.5	23.9	23.4	23.9	
月平均	出場件数	788.8	822.3	844.4	847.8	849.4	
	搬送人員	700.3	714.5	727.3	711.8	729.5	

救急講習会実施状況

(平成28年)

年別	種別	普通救命講習		上級救命講習		その他の講習	
		実施回数	受講者数	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数
平成7年～平成25年		971	20,198	53	1,156	612	23,454
平成26年		80	1,572	5	173	57	2,361
平成27年		84	1,297	6	194	52	2,070
平成28年		80	1,433	5	161	48	2,417
合計		1,215	24,500	69	1,684	769	30,302

救急隊別出場状況

(平成28年)

事故種別 救急隊別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
中央消防署 第1救急隊	9	2	1	200	13	10	210	8	7	973	179	1,612
第2救急隊	16	0	0	156	19	8	200	8	18	966	189	1,580
九十九里分署	2	0	11	120	16	3	179	13	8	899	161	1,412
東消防署	10	1	2	122	13	7	144	10	23	846	137	1,315
芝山分署	2	1	0	72	12	2	81	3	3	325	55	556
山武分署	4	1	0	81	5	4	121	6	12	621	51	906
南消防署	10	0	0	164	12	10	261	11	16	1,111	271	1,866
白里出張所	0	1	3	79	5	4	119	5	7	650	73	946
計	53	6	17	994	95	48	1,315	64	94	6,391	1,116	10,193

市町別救急発生状況

(平成28年)

事故種別 市町別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
東金市	14 ₁	2	1	336 ₃₂	35	16	415 ₁	23 ₃	29	2,119 ₄	455 ₅	3,445 ₄₆
山武市	16 ₁	2	4	225 ₅₁	24	14	326	19 ₁	34	1,702 ₁	201 ₃	2,567 ₅₇
大網白里市	10	1	3	193 ₂₃	10	13	349 ₁	10	16	1,596 ₂	257 ₁	2,458 ₂₇
九十九里町	8	1	8 ₁	65 ₁₁	13	3	163	6	10	706 ₆	152	1,135 ₁₈
芝山町	3			45 ₈	12	1	59	2	3	222	39 ₂	386 ₁₀
管外				5	1	1	1		2	33	1	44 ₀
計	51 ₂	6 ₀	16 ₁	869 ₁₂₅	95 ₀	48 ₀	1,313 ₂	60 ₄	94 ₀	6,378 ₁₃	1,105 ₁₁	10,035 ₁₅₈

※ 下段は、応援出動のため計上せず

月別救急出場状況

(平成28年)

月別	事故種別		火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ
	件数(人)		災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	の
1	出動件数	865	7			72	9	3	117	4	7	566	80
	搬送件数	722	1			61	9	3	98	2	6	472	70
	搬送人員	736	1			73	9	3	98	2	6	473	71
2	出動件数	771	8			65	3	2	80	4	5	513	91
	搬送件数	634	2			54	3	2	59	1	2	430	81
	搬送人員	647	2			67	3	2	59	1	2	430	81
3	出動件数	843	4		2	85	9	4	92	6	12	523	106
	搬送件数	690			1	65	8	4	80	3	7	425	97
	搬送人員	702			1	76	8	4	81	3	7	425	97
4	出動件数	750	4		1	77	4	4	99	1	8	443	109
	搬送件数	647	2		1	67	4	4	86	1	5	382	95
	搬送人員	655	2		1	75	4	4	86	1	5	382	95
5	出動件数	799	5		4	71	5	6	95	1	9	512	91
	搬送件数	692			3	58	4	5	84	1	7	448	82
	搬送人員	706			3	71	4	5	84	2	7	448	82
6	出動件数	780	3		1	91	4	6	102	12	7	462	92
	搬送件数	663				73	4	5	89	4	5	401	82
	搬送人員	674				84	4	5	89	4	5	401	82
7	出動件数	843	4		1	86	7	2	101	3	10	542	87
	搬送件数	740			1	77	7	2	92	1	7	479	74
	搬送人員	749			1	83	7	2	92	2	8	480	74
8	出動件数	1,019	4	6	2	98	12	4	160	3	8	623	99
	搬送件数	865		5		81	10	3	147	2	5	530	82
	搬送人員	888		7		99	10	3	148	3	6	530	82
9	出動件数	906	4		5	87	16	5	114	9	8	565	93
	搬送件数	762	1		3	69	16	5	88	5	3	488	84
	搬送人員	779	1		3	85	16	5	89	5	3	488	84
10	出動件数	865	2		1	93	8	6	102	2	10	541	100
	搬送件数	723			1	81	7	4	88		6	455	81
	搬送人員	735			1	93	7	4	88		6	455	81
11	出動件数	796	2			79	7		117	5	4	502	80
	搬送件数	670				65	5		107	2	2	418	71
	搬送人員	683				76	5		107	2	2	420	71
12	出動件数	956	6			90	11	6	136	14	6	599	88
	搬送件数	785	1			72	11	6	106	10	4	492	83
	搬送人員	800	1			85	11	6	106	10	4	494	83
合計	出動件数	10,193	53	6	17	994	95	48	1,315	64	94	6,391	1,116
	搬送件数	8,593	7	5	10	823	88	43	1,124	32	59	5,420	982
	搬送人員	8,754	7	7	10	967	88	43	1,127	35	61	5,426	983
搬送者程度	死亡	137	1		2	3			4	1	6	120	
	重症	913	1		1	49	8		81	1	8	542	222
	中等症	4,228	4	4	6	210	37	20	420	5	29	2,810	683
	軽症	3,475	1	3	1	705	43	23	622	28	18	1,953	78
	その他	1										1	
計	8,754	7	7	10	967	88	43	1,127	35	61	5,426	983	

曜日別救急出場状況

(平成28年)

事故種別 区分		火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	合
		災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	の	計
曜日別	月	18	6	3	137	11	7	179	8	20	916	195	1,500
	火	6		5	129	20	2	185	7	16	877	191	1,438
	水	9		1	152	13	4	168	2	14	892	167	1,422
	木	4		1	127	22	2	151	8	9	908	156	1,388
	金	6		1	176	11	9	199	15	10	900	213	1,540
	土	4			136	10	13	215	19	11	932	131	1,471
	日	6		6	137	8	11	218	5	14	966	63	1,434
	計	53	6	17	994	95	48	1,315	64	94	6,391	1,116	10,193

管内管外搬送人員

(平成28年)

事故種別 区分		火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	合
		災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	の	計
管内に住所を有する者		7	4	3	726	56	21	988	27	53	4,987	804	7,676
管外に住所を有する者			3	7	241	32	22	138	8	8	438	179	1,076
その他								1			1		2
計		7	7	10	967	88	43	1,127	35	61	5,426	983	8,754

事故種別年齢区分別搬送人員

(平成28年)

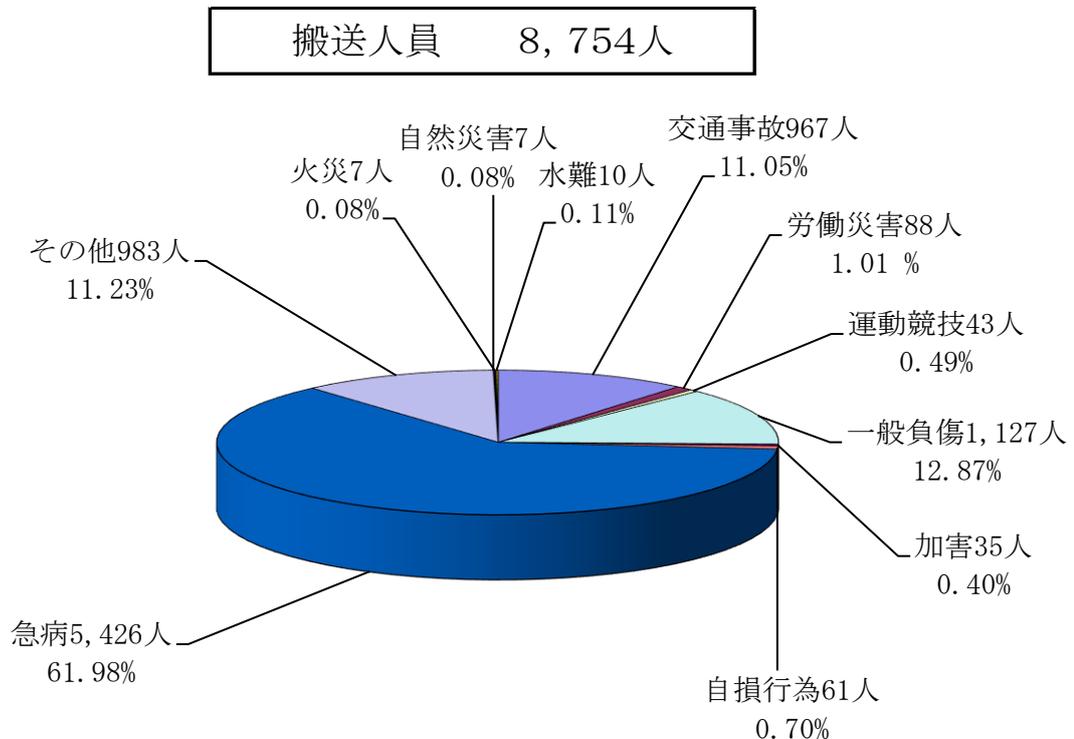
事故種別 年齢区分		火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	合
		災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	の	計
新生児											4	16	20
乳幼児			1	1	40			98	1		227	13	381
少年			2		84		23	73	2	2	135	17	338
成人		5	1	6	616	73	19	288	24	50	1,766	287	3,135
老人		2	3	3	227	15	1	668	8	9	3,294	650	4,880
計		7	7	10	967	88	43	1,127	35	61	5,426	983	8,754

事故種別傷病程度別搬送人員

(平成28年)

事故種別 傷病程度	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
死亡	1		2	3			4	1	6	120		137
重症	1		1	49	8		81	1	8	542	222	913
中等症	4	4	6	210	37	20	420	5	29	2,810	683	4,228
軽症	1	3	1	705	43	23	622	28	18	1,953	78	3,475
その他										1		1
計	7	7	10	967	88	43	1,127	35	61	5,426	983	8,754

事故種別搬送人員



時間別救急出場状況

(平成28年)

区分	事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
	計		53	6	17	994	95	48	1,315	64	94	6,391	1,116
時間別内訳	0～2	4			24	2		52	10	7	393	19	511
	2～4	1			19			30	8	5	293	14	370
	4～6	4		1	36	2		33	1	6	293	10	386
	6～8	4		1	88	4	1	83	2	10	540	19	752
	8～10	5		2	115	15	4	164	4	7	644	135	1,095
	10～12	16		4	120	19	19	175	3	7	631	264	1,258
	12～14	3	1	3	112	14	5	159	3	7	632	242	1,181
	14～16	5	4	4	108	13	7	146	5	11	560	138	1,001
	16～18	4		1	140	13	5	141	2	9	560	139	1,014
	18～20	2	1	1	142	7	2	152	4	10	724	60	1,105
	20～22	2			59	2	4	109	8	10	644	43	881
22～24	3			31	4	1	71	14	5	477	33	639	

事故種別応急処置状況

(平成28年)

事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
応急処置対象人員	5,421	961	1,125	1,229	8,736
止血	45	29	115	28	217
固定	31	430	125	48	634
人工呼吸	29	1		4	34
心マッサージ	7				7
心肺蘇生	190	9	7	13	219
酸素吸入	1,163	80	66	366	1,675
気道確保	267	13	11	23	314
うち経鼻エアウェイ	5				5
喉頭鏡・鉗子等による異物除去	2	1			3
※ラリゲアルマスク等	39	2	5	3	49
※気管挿管	7				7
保温	406	34	41	81	562
被覆	28	161	323	68	580
在宅療法継続	6		1		7
※除細動	12				12
※静脈路確保	190	7	9	12	218
※薬剤投与	46	2	2	4	54
その他の応急処置	5,240	929	1,097	1,202	8,468
血圧測定	5,097	935	1,059	1,185	8,276
聴診器による心音・呼吸音等	1,034	235	174	145	1,588
血中酸素飽和度の測定	5,251	947	1,105	1,216	8,519
心電図	3,354	178	218	674	4,424

※は救急救命士が行う特定行為

市町別ドクターヘリ出動件数一覧表

(平成26年～平成28年)

事故種別 市町別		救急事故種別													合計	
		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				
												転院搬送	医師搬送	資等器輸材送		その他
平成26年中	東金市				4	7		6		2	16	2				37
	山武市	1			11	3		5			27	1				48
	大網白里市				3	2		6			7					18
	九十九里町			1	3	2		2			3	1				12
	芝山町				2						5					7
	管外										1					1
	計	1	0	1	23	14	0	19	0	2	59	4	0	0	0	123
平成27年中	東金市				13	1		1		8	1					24
	山武市	1		1	2	1		3	3	16		1				28
	大網白里市					5	1		3		7					16
	九十九里町			1	2						7					10
	芝山町				3	2		3			5					13
	管外							2			1					3
	計	1	0	2	20	9	1	9	6	24	21	1	0	0	0	94
平成28年中	東金市				4	1		3		1	5	1				15
	山武市			1	8	2		3			7					21
	大網白里市				5	2		3			6	2				18
	九十九里町				2	1		3			4					10
	芝山町				2	1		1			2					6
	管外															0
	計	0	0	1	21	7	0	13	0	1	24	3	0	0	0	70

※ 北総ドクターヘリ運用開始(平成13年10月)

※ 君津ドクターヘリ運用開始(平成21年1月)

※ 北総ラピッドカー運用開始(平成22年6月)

※ 実働件数(ラピッドカー含む)とし、1機体出動につき1件を、往復搬送は1件で計上

年別救助活動状況

(平成26年～平成28年)

年別	事故種別	火災		交通 事故	水難 事故	自然 災害	事 機 械 に よ る 故	事 建 物 等 に よ る 故	酸 欠 事 故	ガ ス 及 び	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
		建 物	建 物 以 外										
26	出動件数	3		68	14	1	1	25	1			19	132
	活動件数	3		35	8			9				7	62
	救出人員	2		38	10			9				7	66
27	出動件数	2	1	57	10		7	30	1			43	151
	活動件数	2	1	20	3		4	19	1			10	60
	救出人員	1	1	23	3		4	20	1			9	62
28	出動件数	7		64	11		2	41				60	185
	活動件数	7		19	8		1	25				6	66
	救出人員	5		22	8		1	25				5	66

救助活動状況

(平成28年)

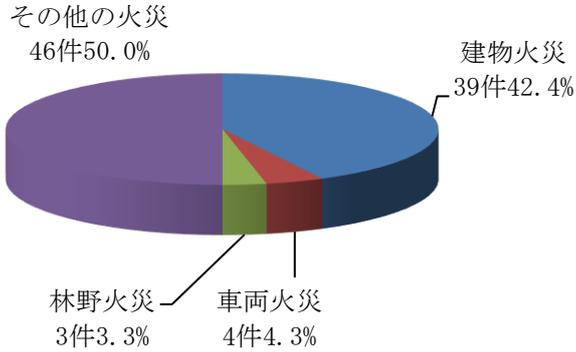
区分	事故種別	火災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	事 機 械 に よ る 故	事 建 物 等 に よ る 故	酸 欠 事 故	ガ ス 及 び	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
		建 物	建 物 以 外										
出動人員	救助隊員	40		335	96		8	181				364	1,024
	消防隊員	114		510	90		16	295				670	1,695
	救急隊員	30		270	36		6	126				216	684
	計	184		1,115	222		30	602				1,250	3,403
活動人員	救助隊員	40		70	59		4	98				24	295
	消防隊員	109		135	61		9	162				54	530
	救急隊員	24		81	27		3	72				18	225
	計	173		286	147		16	332				96	1,050
出動車両	救助工作車	9		59	13		2	28				60	171
	水槽付ポンプ車	23		97	20		2	56				142	340
	はしご車	2		2								5	9
	化学車			3				1				6	10
	指揮車	14		128	22		4	78				119	365
	救急車	10		91	12		2	42				72	229
	計	58		380	67		10	205				404	1,124
活動車両	救助工作車	9		11	8		1	13				5	47
	水槽付ポンプ車	20		25	14		1	31				8	99
	はしご車	1											1
	化学車			1								1	2
	指揮車	14		30	15		2	37				10	108
	救急車	8		26	9		1	23				6	73
	計	52		93	46		5	104				30	330

火災統計

火災種別発生状況

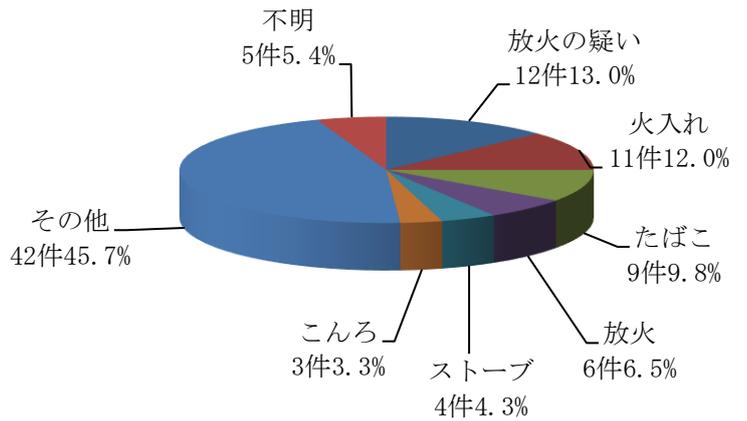
火災件数 92件

(平成28年)



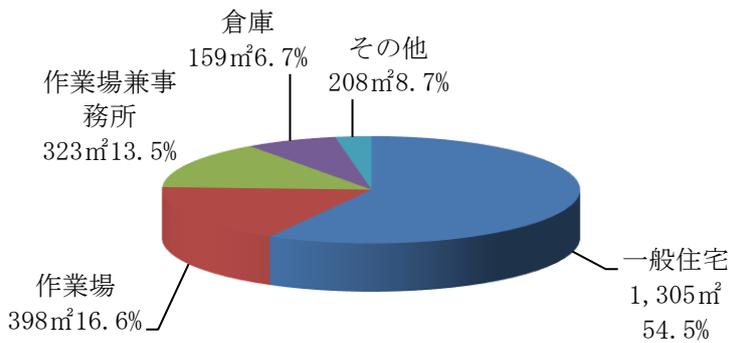
出火原因別火災件数

火災件数 92件



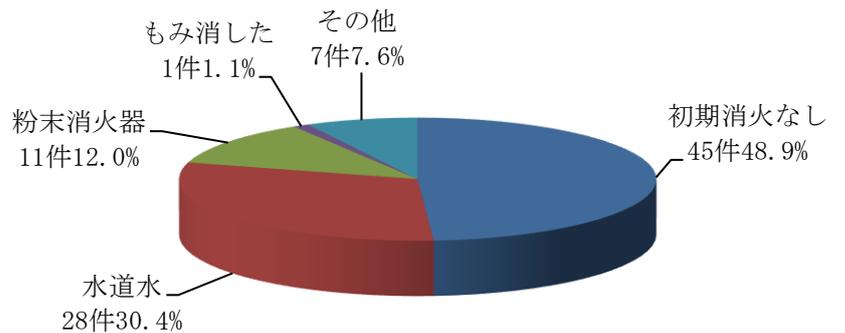
建物用途別焼損面積

焼損面積 2,393㎡



初期消火器具使用状況

火災件数 92件



火災概況及び比較表

(平成26年～平成28年)

区 分		年 別		平成26年		平成27年		平成28年		昨年との比較
火災発生件数	合 計	113		123		92		△31		
	建 物 火 災	42	37.2%	53	43.1%	39	42.4%	△14		
	林 野 火 災	2	1.8%	5	4.1%	3	3.3%	△2		
	車 両 火 災	6	5.3%	10	8.1%	4	4.3%	△6		
	船 舶 火 災									
	航空機火災									
	その他の火災	63	55.7%	55	44.7%	46	50.0%	△9		
焼失棟数	合 計	58		78		61		△17		
	ば や	28		35		22		△13		
	部 分 焼	8		18		10		△8		
	半 焼	2		4		3		△1		
	全 焼	20		21		26		5		
焼失面積	建 物 (㎡)	1,805		1,801		2,393		592		
	林 野 (a)	18		7		2		△5		
罹災世帯数	合 計	30		39		36		△3		
	小 損	17		28		22		△6		
	半 損	3		2		1		△1		
	全 損	10		9		13		4		
	人 員	64		118		78		△40		
損害額(千円)	合 計	111,975		81,582		118,839		37,257		
	建 物 火 災	110,798		72,937		117,002		44,065		
	林 野 火 災	0		0		18		18		
	車 両 火 災	963		1,611		1,678		67		
	船 舶 火 災	0		0		0		0		
	航空機火災	0		0		0		0		
	その他の火災	214		7,034		141		△6,893		
死傷者	死 者	7		5		4		△1		
	負 傷 者	12		17		6		△11		
1件平均損害額(千円)		991		663		1,292		629		
1日平均損害額(千円)		307		224		326		102		
建物火災のみ(千円)		2,638		1,376		3,000		1,624		
建物火災のみ(千円)		304		200		321		121		
出 火 率 (人口1万人当たり)		5.9		6.5		4.3		△2.2		

市町別火災発生状況

(平成28年)

火災種別 市町別	建物火災			林野火災			車両火災			船舶火災			航空機火災			その他の火災		件数計
	件数	焼失面積 (㎡)	損害見積額 (千円)	件数	焼失面積 (a)	損害見積額 (千円)	件数	焼失数 (台)	損害見積額 (千円)	件数	焼失数 (隻)	損害見積額 (千円)	件数	焼失数 (機)	損害見積額 (千円)	件数	損害見積額 (千円)	
	東 金 市	12	398 (表) 23	16,377				2	2	922							11	
山 武 市	9	816 (表) 6	42,450	1			1	1	576							16	100	27
大網白里市	13	653 (表) 3	38,802	1	1											10	7	24
九十九里町	4	493 (表)	17,265													5	5	9
芝 山 町	1	33 (表)	2,108	1	1	18	1	1	180							4	3	7
計	39	2,393 (表) 32	117,002	3	2	18	4	4	1,678							46	141	92

※(表)は、表面積

火災件数及び損害状況

(平成19年～平成28年)

年 別	件 数	火災種別						焼損面積		損 害 額 (千円)						計
		建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	建 物 (㎡)	林 野 (a)	建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	
19	127	62	7	14			44	3,500	16	177,721	758	28,676			491	207,646
20	170	52	11	13			94	3,554	30	315,486	762	3,422			2,835	322,505
21	145	61	2	11	1		70	2,793	1	214,176	81	5,201	28		412	219,898
22	147	61	10	12			64	4,245	10	211,560	47	691			853	213,151
23	223	54	22	16			131	4,352	161	372,769	3,290	4,023			3,442	383,524
24	133	61	14	8			50	4,620	51	189,448	700	5,406			3,491	199,045
25	130	51	7	8			64	2,414	21	213,275	487	694			1,215	215,671
26	113	42	2	6			63	1,805	18	110,798		963			214	111,975
27	123	53	5	10			55	1,801	7	72,937		1,611			7,034	81,582
28	92	39	3	4			46	2,393	2	117,002	18	1,678			141	118,839

月別火災発生件数及び損害状況

(平成28年)

種別 月別	建物火災			林野火災			車両火災			船舶火災			航空機火災			その他の火災		死傷者	
	件数 (件)	損害額 (千円)	焼失面積 (㎡)	件数 (件)	損害額 (千円)	焼失面積 (a)	件数 (件)	損害額 (千円)	焼失数 (台)	件数 (件)	損害額 (千円)	焼失数 (隻)	件数 (件)	損害額 (千円)	焼失数 (機)	件数 (件)	損害額 (千円)	死者	負傷者
1	4	10,792	228	1	18	1	1	22	1						6	2	1	1	
2	8	29,084	578				1	180	1						4	101	1	1	
3	4	23,782	319												2				
4	3	1,551	50	1											2	10		2	
5	4	21,352	579	1		1									7	24	1		
6	2	4,288	87												2				
7	2	11,704	268				1	576	1						3				
8	4	1,628	37												5				
9	1	14					1	900	1						4	1		1	
10	2	1,961	51												3				
11	2	51																	
12	3	10,795	196												8	3	1	1	
計	39	117,002	2,393	3	18	2	4	1,678	4						46	141	4	6	

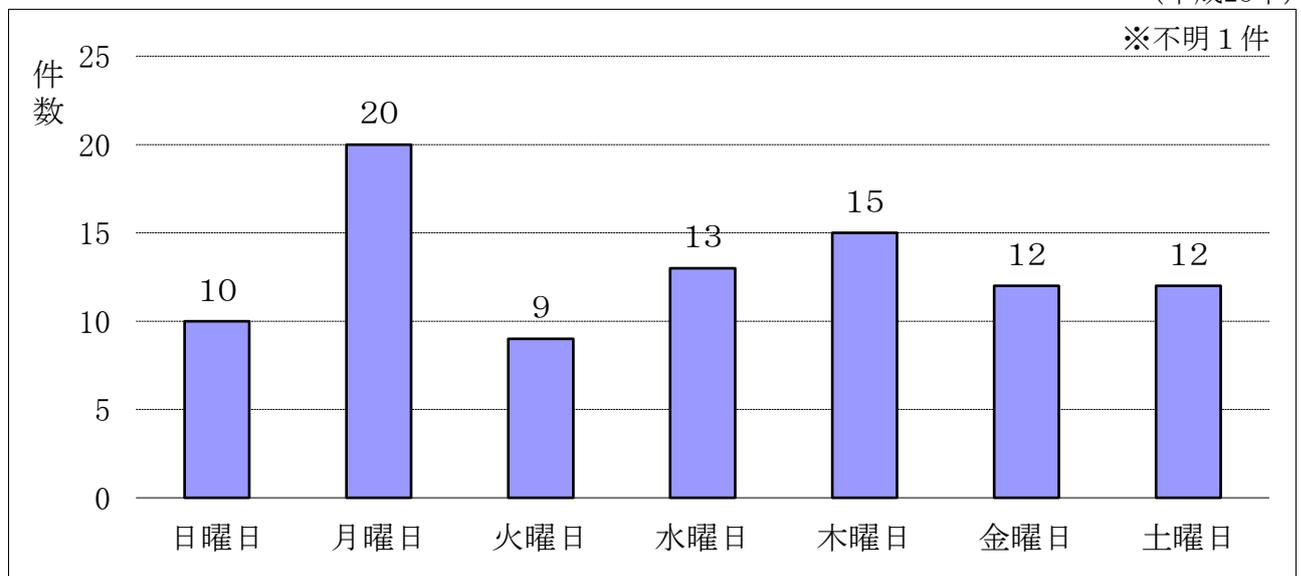
時間別火災発生状況

(平成28年)

月別 件数 時間	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	種 別					
														建物	林野	車両	船舶	航空機	その他
	92	12	13	6	6	12	4	6	9	6	5	2	11	39	3	4	0	0	46
0~1	3	1					1			1				2					1
1~2	3			1	1	1													3
2~3	1				1									1					
3~4	0																		
4~5	4		1	1		1		1						4					
5~6	1					1								1					
6~7	3	1	1			1								2	1				
7~8	3			1			1			1									3
8~9	4	1		1	1							1		3	1				
9~10	1		1											1					
10~11	11	1			1		1	1		2	1		4	3		1			7
11~12	8		3			1		1		1		1	1	2		3			3
12~13	4					1			2				1						4
13~14	5	1	1						1		1		1	2					3
14~15	8	2	2			2		1	1					1					7
15~16	11	3	1	1	1			1	2		1		1	2	1				8
16~17	4				1		1	1					1	2					2
17~18	3	1	1			1								1					2
18~19	0																		
19~20	3			1							1		1	2					1
20~21	3	1								1			1	3					
21~22	1										1								1
22~23	2					1			1					1					1
23~24	3					1			2					3					
不明	3		2			1								3					

曜日別火災発生状況

(平成28年)



年別火災原因別件数

(平成24年～平成28年)

原因別 \ 年別	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	備考
放火の疑い	12	16	7	9	12	経過中、放火の疑いに分類されるもの (放火自殺、放火殺人を含む)
火入れ	34	41	47	42	11	枯草、枯枝、枯葉、廃材、ごみ等の焼却及び焼却の火の粉等に分類されるもの
たばこ	5	5	8	6	9	たばこに分類されるもの
放火	13	17	14	20	6	経過中、放火に分類されるもの (放火自殺、放火殺人を含む)
ストーブ	8	5	3	4	4	電気、ガス、石油、まき、石炭等を燃料とするストーブ及びストーブの火の粉等に分類されるもの
こんろ	7	5	6	7	3	電気、ガス、石油、七輪、まき等を燃料とするこんろ及びこんろの火の粉等に分類されるもの
配線器具	0	1	0	3	1	電気による発熱体のうち、配線器具に分類されるもの
マッチ・ライター	2	3	0	3	1	マッチ、ライター等
電気装置	2	2	2	2	1	電気による発熱体のうち、電気装置に分類されるもの
溶接機、切断機	1		1	2	1	溶接機、自動半田付け機、ガス油類を燃料とする溶接機・切断機等
取灰	1	3	0	2	1	かいろ灰、取灰、消し炭薪、石炭がら、すす等に分類されるもの。
排気管	3	5	2	3	0	排気管及び排気管の火の粉等に分類されるもの
電気機器	3	4	0	3	0	電気による発熱体のうち、電灯電話等の配線に分類されるもの
その他	31	18	14	12	37	上記のいずれにも分類されないもの
不明	11	5	9	5	5	発火源または経過が不明なもの
計	133	130	113	123	92	

火事と救急・救助 119

火災の問い合わせ

0475 (52) 0404

休日・夜間診療の問い合わせ

0475 (55) 0119

消防年報 平成28年版

発行 平成29年8月

編集 山武郡市広域行政組合消防本部・総務課企画係

〒283-0062 千葉県東金市家徳384番地2

TEL 0475 (52) 8751

FAX 0475 (55) 0131

URL : <http://www.sanbukouiki-chiba.jp/FDHP/newfd.119.html>

E-mail : fd.soumu@sanbukouiki-chiba.jp